

推進の 1	重点 1	取組 1	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
健やかに 過ごせる まち	健康 寿命を 延ばす ための 健康 づくり を進め る	それ ぞれ の 年 代 に 応 じ た 健 康 づ く り	「よこはまウォーキングポイント事業」と運動しながら、ウォーキングをはじめとした運動を日常生活の中で習慣化できる区民を増やします。 →運動やウォーキングなどの健康づくりを取り入れた生活習慣が送れる区民を増やします。	運動等を習慣化する区民を増やすための取組	区福祉保健課	健康ウォーキング事業 →健康づくり推進事業	保健活動推進員と連携して、地域において健康づくり活動を支援する取組を行います。	【健康づくり】 ・保健活動推進委員会と連携し、地域での健康づくりの体操教室やウォーキングなどの継続的に実施するとともに、応急措置講習会やロコモ予防等の研修などの取組を支援していきます。 ・動き子育て世代への健康づくりや生活習慣病予防等の講座を実施します(6回)	【健康づくり】 ・メタボ予防講座(7/7:10人) ・栄養食生活講座(8/25:10人) ・運動・歯周病予防講座(9/28:21人) ・メタボ予防講座(10/27:8人)	【健康づくり係】 40歳～60歳代の生活習慣病予防のための講座では、生活習慣の改善の取組や歯周病予防の歯やお口に興味関心を持てるように実施し、参加者一人ひとりの意識の向上をすることができました。 また、保健活動推進員と連携しながら、国際親善総合病院でAEDを活用した、応急措置講習会などを開催しました。
			「バランスよく食べる」「塩分少なめ」「野菜たっぷり」の食習慣づくりを目指します。	食習慣づくりの取組	区福祉保健課	食習慣の改善事業	ヘルスメイトと連携して、地域において地場野菜をつかった料理教室を開催します。	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜料理教室を食生活等改善推進委員会に運営委託しより身近な場所での実施(4回)	【健康づくり】 ・区民のための食事相談(月2回) ・地場野菜を使った料理教室 新橋地区(9/28:22人) 上飯田地域ケアプラザ(10/30:16人) 中田コミュニティハウス(11/24:26人) 下和泉地区(2/2:31人)	【健康づくり係】 生活習慣改善の食事相談では、個別指導を実施することで、意識の変容がみることができた。 また、食生活等改善推進員(ヘルスメイト)と連携しながら、地場野菜を使った料理教室の実施し、幅広い年代からの参加があり、食習慣の見直しや改善につながりました。
			禁煙活動を推進するとともに、子どもの喫煙防止教育を進めます。	啓発実績 喫煙防止教育への取組	区福祉保健課	健康横浜21推進事業	禁煙の取組の推進と受動喫煙を避ける環境づくりを進めます。	【健康づくり】 ・禁煙、受動喫煙防止を推進するため、区民ホールイベントでの禁煙相談や啓発の実施(6/7) ・小学校での喫煙・受動喫煙防止教室(2校)	【健康づくり】 ・生活習慣相談での禁煙相談(月1回) ・イベントにおける禁煙相談(6/7) ・小学校での喫煙予防教室の開催(2校) 飯田北いちよう小、上飯田小	【健康づくり係】 世界禁煙デー・食育月間などを合わせた区民ホールでのイベント開催や飯田北いちよう小学校、上飯田小学校において喫煙防止教室を実施し、禁煙や受動喫煙防止の啓発をすることができました。
			乳幼児健診時の保護者への健康づくりの啓発として、口腔ケア・ブラッシング指導、食生活相談、乳がんの自己触診方法指導などの予防啓発を進めます。	啓発実績	区福祉保健課	乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業	4か月児健診時での保護者への口腔ケア啓発及び3歳児健診時での保護者への個別相談・乳がん・子宮がんの啓発を行います。	【健康づくり】 ・4か月健診時で来所する保護者に対して口腔ケア・ブラッシング指導の実施(月2回) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(月2回) ・泉区歯科医師会と連携して、子どもフッ素塗布と歯科相談(1回)	【健康づくり】 ・4か月健診時での口のお口のセルフケア(510人) ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(1,231人) ・みんなの健康アップ！フェスティバルでの子どものフッ素塗布と歯科相談(6/7)	【健康づくり係】 乳幼児健診時の保護者等に対する健康づくりの啓発では、母親、父親などに積極的に声掛けしながら生活習慣病や歯科疾患の予防や乳がん・子宮がん健診について啓発などを行いました。健診に来た保護者の半数以上に予防方法や健診の必要性について周知することができました。 保健活動推進員と連携して、地域での各種イベントなどにおいて、がん検診や生活習慣病予防の啓発を行い、区民に対し健康づくりの意識向上につなげました。
			がん検診や生活習慣病予防の啓発を地域の各種イベント及び区民まつりなどで実施します。	啓発実績	区福祉保健課	がん検診啓発事業	生活習慣病である「がん」をはじめとした生活習慣病に関する啓発を行います。	【健康づくり】 ・地域のイベント等でのがん検診の啓発(随時) ・区民まつり等での啓発(11/3)	【健康づくり】 ・区民ふれあいまつり(11/3)、各地域のイベント等のがん検診啓発の実施 ・センターでの肺がん検診の実施(5回)	
介 護 予 防 の 推 進	2	元 気 な う ち か ら 介 護 予 防 に 取 り 組 む 区 民 を 増 や す た め 、 講 演 会 や イ ベ ン ト の 実 施 等 を 通 じ た 普 及 啓 発 を 図 り ま す。	講演会、介護予防教室等の参加者数	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 新しい介護予防活動の内容を紹介しながら、様々な形で介護予防に取り組みめるきっかけ作りにつとめます。 講演会+体験講座を開催することで、介護予防の習慣ができるような普及啓発を実施していきます。	【高齢者支援担当】 ・講演会 2回 98人 ・健康教育 36回 865人 ・介護予防教室等 12回 209人	【高齢者支援担当】 MCI講演会を開催し、70名の方が参加されました。講演会を受けての実践編として、そろばん学習を連続講座で開催し36名の方が参加されました。大変好評で続けてほしいとの声がありました。そろばん講座については、自宅でするよう希望者にCDや資料を配布しました。12月には、各エリアでの活動に取り入れてもらうよう、支援者向け連続講座を開催し、のべ44名参加されました。教材を配布することで、すぐに取り入れられる、と好評でした。 ハマトレ体験編について、地域の活動に取り入れてもらうよう、支援者向け講座を開催し、32名参加がありました。DVDを配布することで、すぐにとり入れやすい、と好評でした。 膝・腰痛予防に関して、「講演会」で知識の確認をし、「連続講座」で日常生活に取り入れられるよう企画しました。連続講座については、区内介護老人保健施設に委託実施し、自力で会場に向くことが難しい方には、最寄り駅までの送迎支援を行いました。のべ139名参加し、大変好評でした。終了後、地域の活動グループを紹介し介護予防の継続を伝えました。参加者の約半数は既存のグループで活動をしている方ですが、講座は好評で男性も複数名参加されました。 その他、認知症をテーマとした介護予防教室や講座は、関心が高く申し込みが多いので、介護予防の必要性について伝える良い機会となっています。	
			ロコモティブシンドロームの予防を呼びかけ、その防止を実践する区民を増やします。	講座の参加者数	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に、介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 ロコモ予防のイベント・講座を行うことにより、介護予防の普及啓発に努めています。 ハマトレ、ハマトレ体験版が普及するよう、指導者向けに研修会を実施していきます。	【高齢者支援担当】 ロコモ予防のイベント 5回 239人	【高齢者支援担当】 各エリアで測定会を実施することで、介護予防に取り組むきっかけづくりを企画しました。運動の必要性を感じた方へ、地域の活動団体の紹介をすることで、継続して介護予防に取り組めるよう工夫しました。実際に「参加してみる」という方もいました。
			健康長寿を目指して、その大切さに気づき、健康づくりを実践するための講座の実施や、グループ活動への支援を行います。	グループの立ち上げ支援 グループ活動の取組事例 地域ケアプラザ	区高齢・障害支援課	元気づくりステーション事業	介護予防の必要性和具体的な取組内容について啓発を行う。グループ活動を通して、高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指します。	【高齢者支援担当】 高齢者が、地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指して、元気づくりステーションを立ち上げます。平成30年4月から3か所の元気づくりステーションが活動開始の予定です。平成29年度までに9か所の元気づくりステーションの活動が始まっており、平成30年度も継続して活動します。住民が主体的に運営し、介護予防の地域の資源となるよう支援します。 (いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」が毎月3回継続的に活動を行っています。スクエアステップ・筋トレという中心メニューに加え、健康測定会、ロコモ予防講座、座式太極拳等の多彩なメニューを取り入れて活動を予定しています。 (下和泉) 元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」の会場貸出し運営に関する助言・協力をしていきます。H27年度育成された「ふまねっとサポーター」とH30年度も共催で講座を実施したりサロン等ふまねっと体験教室を開催していきます。H29年度終了した「うた声サポーター」が元気づくりステーションとなります。H30年度もサポーターとともにケアプラザで「うた声喫茶」を開催したり、サロンに出張して歌を通して介護予防や交流を広めたりします。H28年度立ち上がったノルデックウォーキングのグループメンバーはまだ少人数なので仲間を増やしていきます。 (上飯田)新たに立ち上げた元気づくりステーション「スマイル」「妻の会(ふまねっと)」の活動を支援します。(毎週月曜日/年45開催)。また継続して「健好クラブ」の活動を支援します。相談や住民からの情報等を通じて把握した高齢者に対し活動グループおよび内容の紹介をして参加を呼びかけます。 (新橋)ウォーキング講座など新規事業を開催し新たな自主グループ活動に結びつけます。 (いずみ野)平成29年度に立ち上がった「おはなしほけっと」が継続して活動ができるように支援をしています。新たな立ち上げができるように支援をしています。	【高齢者支援担当】 ・継続 9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所(いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」 毎月3回スクエアステップ・筋トレを中心として、健康測定会、ロコモ予防講座、座式太極拳等様々なメニューに取組むことが出来ました。 (下和泉) ・元気づくりステーション「下和泉麻雀クラブ」10回 延べ参加人数380名 ・元気づくりステーション「歌ごえサポーター」11回 延べ参加人数169名 ・下和泉健康づくり教室7回 延べ参加人数183名 ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名 (上飯田)継続支援3カ所、運営相談やプログラムメニュー等を通して活動を支援。 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 妻の会 24回 570人 (新橋) ・健康畑ひまわり5回・104人 ・ふまねっとサークル3回・60人 【いずみ野】 「おはなしほけっと」が月に2回活動を行いました。	

推進の	重点項目	取組名	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度取組結果
1	健康寿命を延ばすための健康づくりを進める	3 認知症の予防・早期発見	認知症の正しい理解、予防のための生活習慣についての啓発を進めていきます。	講演会の実施、参加者数	区高齢・障害支援課	認知症啓発講演会	認知症についての正しい理解を図り、予防の大切さと、地域の支え合いの気持ちを醸成します。	【高齢者支援担当】 認知症の正しい知識について普及啓発をするため、講演会を1回開催します。	【高齢者支援担当】 認知症サポーター養成講座2回 89名	【高齢者支援担当】 認知症サポーター養成講座を2回開催し、区民の方合計89名の参加がありました。認知症グループホームの方に、認知症高齢者の実際の生活状況やご家族の気持ち等わかりやすく講義していただき、大変好評でした。認知症サポーターとして活動を希望する方々のために、「区内認知症グループホームのボランティア受け入れリスト」を作成し、養成講座修了者に配布しました。現在のところ活動には至っていないので、次年度以降の課題としています。
			認知症の理解、予防の普及啓発活動を支援します。	活動支援のための取組 脳若返り隊員数	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	地域づくり型介護予防事業 認知症支援事業	脳と体の若返り教室、認知症予防講演会を実施します。	【高齢者支援担当】 高齢者の介護予防普及啓発のため、地域で出前講座等の実施をしていきます。MCI(軽度認知障害)の診断と対応について講演会を実施していきます。 (いずみ中央)認知症への理解のために、キャラバンメイトの方と協力し、認知症サポーター養成講座を開催します。 (下和泉)認知症サポーター養成講座を通じ、認知症の正しい理解と早期発見の意義を地域に発信します。認知症カフェ「ぼかぼかサロン」の企画に地域活動者が関わることで認知症当事者と交流し理解を深めます。 (上飯田)サロンの担い手のスキルアップ研修・連絡会を実施します。脳いきいき教室が円滑に活動できるよう支援します。 (新橋)介護予防に取り組みエリアの団体の後方支援を実施し、継続的活動に繋がります。 (踊場)認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への正しい理解と早期発見ができるように支援します。 (いずみ野)認知症予防のレクリエーション スリーAを月に1回開催し、認知症の予防に努めています。地域のサロンやシニアクラブでスリーAを行い、地域に広めていきます。また、地域でできるようにボランティア養成講座を開催します。	【高齢者支援担当】 ・ボランティア育成等のための研修 7回・ 161人 ・地域組織の育成・支援 25回・ 258人 (いずみ中央) ・サポーター養成講座 16回・計912名 ・サポータースキルアップ講座 1回・計51名 (下和泉) 認知症カフェ「ぼかぼかサロン」12回 延べ参加人数350名 ・認知症サポーター養成講座6回 延べ参加人数256名 ・下和泉エリアキャラバンメイト連絡会5回 (上飯田) ・サロンのボランティアや担い手のスキルアップ研修および連絡会の実施 2回 31名 ・脳いきいき教室の活動支援 5カ所 (新橋) ・認知症サポーター養成講座3回146名 ・認知症キャラバンメイト連絡会3回 (踊場) 中田地区社協との共催で認知症サポーター養成講座を開催。ふまねっと運動の活動支援。 (いずみ野) ・認知症サポーター養成講座 8回 ・サポーターの フォローアップ研修 2回 ・認知症カフェ デ・アイ 月1回	【高齢者支援担当】 認知症予防については介護予防事業で併せて実施しました。区主催でサポーター養成講座を 2回実施し、89人参加されました。 (いずみ中央) ・サポーター養成講座:6回(ババママ向け5名、つぼみの家スタッフ向け9名、和泉小、地域男性向け20名、地域一般向け23名、中和田中) ・サポータースキルアップ講座 :1回(37名) 【下和泉】 認知症サポーター養成講座は下和泉地区のメイトと企画段階から連携し、地域向け(5月)、小学校(6月・10月)、元気づくりステーション(8月)、自治会(11月)、老健施設(11月)にて開催しています。認知カフェ「ぼかぼかサロン」は、地域活動者と協力し、定例で毎月第1水曜日に年12回実施、のべ361名が参加しました。 (上飯田) ・サロンのボランティアや担い手に対して2回コースでスキルアップ講習および連絡会を実施しました。講習後早速コグニサイズを活動に取り入れれたり、コミュニケーションの取り方に工夫したりしています。 1日目 ハマトレ・コグニサイズの運動講習、 2日目 コミュニケーション講習 ・脳いきいき教室(5教室)に対して介護予防などの講座を行い、活動が円滑にできるようプログラムの支援をしました。 (新橋) 昨年度から継続の音楽カフェ(認知症カフェ)を地域ボランティアが毎月実施し、後方支援として会場の提供・必要時の相談の対応を行ないました。 認知症の理解の為にキャラバンメイトと協力し、認知症サポーター養成講座を実施しました。大人だけでなく広く住民に理解してもらうために、担当地域内2カ所の小学校でも実施しました。 (踊場) 認知症サポーター養成講座を開催しました。(120名) RUN件では中継地点となりデイサービス利用者も応援で参加、職員もRUN件のランナーとして登録し、普及啓発に務めました。 オレンジフェスでは、地域の公園でイベントを行いました。イベントの中に、認知症を知ってもらうために認知症セミナー(紙芝居を使用)などを行い、普及啓発に務めました。 【いずみ野CP】 キャラバンメイト連絡会の開催、認知症サポーター養成講座の実施・支援を行い、認知症の理解と啓発に努めました。 サポーターになられた方のスキルアップ講座を実施しました。
			認知症の早期対応のため、専門医等による相談対応を行います。	相談件数	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	物忘れ相談	精神科医師による認知症等に関する相談を行い、早期発見・治療につなげます。	【高齢者支援担当】 福祉保健センターにおける高齢者の精神保健福祉業務の一環として、外部の精神医学専門医である囁託医に認知症高齢者等の相談に応じてもらい、認知症の理解促進や対応等の指導助言を得、住み慣れた地域で生活が出来るよう支援しています。年12回開催します。広報等を通じて区民の方に周知します。 (いずみ中央)早期発見につながるよう認知症の理解を地域に広めます。早期発見、早期受診につながるよう、必要な方に「物忘れ相談」に関する情報提供を行います。 (下和泉)総合相談・ケアマネジャー、地域住民からの相談対応と認知症初期集中支援の活動を利用しながら専門機関へつなげます。認知症サポーター養成講座を通じ、認知症の正しい理解と早期発見の意義を地域に発信します。総合相談窓口やケアマネジャー、地域住民からの直接の相談に対応し、専門機関へつなげます。 (上飯田)必要に応じてもの忘れ相談の情報提供をして早期受診につなげます。 (新橋)総合相談より必要に応じて専門医に繋がります。地域向けには早期対応の必要性について講座等をつづじて情報発信します。 (踊場)総合相談より早期発見につながるよう、必要に応じて、「物忘れ相談」に関する情報提供を行います。 (いずみ野)総合相談や地域住民に対して認知症の早期発見・治療の必要性を周知し、必要に応じて関係機関に繋がります。	【高齢者支援担当】 12回・相談件数12件 (いずみ中央)130件 (下和泉)486件 (上飯田)122件 (新橋)17人 (踊場)相談件数 80件 (いずみ野)相談件数100件	【高齢者支援担当】 外部の精神医学専門医である囁託医に認知症高齢者等の相談を年12回行いました。本人や家族など12名の方が利用され、病院の受診の進めや介護の相談を行うことができました。 【いずみ中央】 認知症等の相談130件。必要に応じて専門機関につなげました。 【下和泉】 初期認知症支援チームと協力し、医療機関等に繋がっていない高齢者および家族支援に取り組みました。 【上飯田】 地域の住民からの相談対応、ケアマネジャーの支援では早期発見につながるよう物忘れ相談の情報提供をし、医療機関への受診支援を行いました。 認知症サポーター養成講座を通じ、早期発見の重要性を地域に伝えました。 【新橋】 総合相談だけでなく地域住民からの相談で、早期発見につながるように民生委員会合の場などで情報提供しました。 【踊場】 総合相談により、認知症に関する相談で介護保険サービスのサービス利用への促しや、対応方法のアドバイスを行いました。専門の医療機関への受診のためにも、医療機関の情報提供を行い、また介入が難しい場合などは、認知症初期集中支援事業を活用しました。【いずみ野】 区の物忘れ相談につなげるケースは無かったが、認知症初期支援チームにつながったケースが3ケースありました。
2	安心して暮らし続けられる環境をつくる	1 利用しやすい相談窓口体制の推進	相談件数	区こども家庭支援課 地域子育て支援拠点すきっぷ	地域子育て支援拠点事業	未就学児とその養育者の居場所、相談、情報提供、さらに地域で子育てを応援している人のネットワークや人材育成を行っています。	【こども家庭支援課】 拠点「すきっぷ」が持つ7つの役割・機能(ひろば、子育て相談、子育て情報収集・提供、子育てネットワークづくり、人材育成・活動支援、横浜子育てサポートシステム、利用者支援事業(横浜子育てパートナー))について、より多くの区民の皆様にご存知いただき、また利用いただくことで、子育て支援の充実を図ります。	【地域子育て支援拠点における個別相談件数】 604件	【こども家庭支援課】 区内の保育園・認定こども園・幼稚園を紹介する事業「いずみっこひろば」にて、相談を含めた拠点の役割や機能を紹介する場の提供を行いました。 また、「こんにちは赤ちゃん訪問」時に、拠点の機能・活動等掲載している「すきっぷ通信」を配布するとともに、毎月、広報よこはま区版にて拠点が実施する事業等の周知を行うことで、子育て支援の充実を図ることができました。	
			相談件数	区こども家庭支援課	子ども・家庭支援相談	乳幼児期から学齢期までの悩みごとに、保健師・保育士・学校カウンセラー・教育相談員などが幅広く相談に応じます。	【こども家庭支援課】 早期の相談により、問題を拡大させず適切な支援を行っていくために「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布することを通じて、相談窓口をPRし、相談しやすい環境づくりを行うことができました。	【こども家庭支援課】 727件	【こども家庭支援課】 早期の相談により、問題を拡大させず適切な支援を行っていくために「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布することを通じて、相談窓口をPRし、相談しやすい環境づくりを行うことができました。	
			相談件数	区こども家庭支援課	保育所地域子育てひろば事業	施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等の実施をします。	【こども家庭支援課】 家庭で保育を行っている養育者を対象に、施設の地域開放や育児講座、子育て相談を実施し支援します。	30年度 施設開放 360回 子育て相談 927件 育児講座 47回 交流保育 33回 子育てサークル活動等の育成・支援 27回(全て常設園のみ)	【こども家庭支援課】 施設開放、子育て相談等を通じ、多くの保護者(養育者)に施設を利用いただき、また育児支援・相談に繋がりました。	

推進の	重点項目	取組名	行動計画	振返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度未現在	30年度取組結果
1 健康やかに過ごせるまち	2 安心して暮らし続けられる環境をつくる	1 利用しやすい相談窓口体制の推進	様々な相談に対応できるよう、関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	研修の企画・実施の実施回数	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	新任ケアマネジャー研修 主任ケアマネジャースキルアップ研修	関係機関職員を対象にした研修を実施することで、相談職員のスキルアップを図ります。	【高齢者支援担当】 新任ケアマネジャーのスキルアップのため包括主任ケアマネジャーと連携し、新任ケアマネジャー向けに介護保険外サービスについて等研修を行います(3回コースで、秋に実施予定)。相談・調整技術スキルアップのため区内ケアマネジャー向けに6包括合同で研修を6回実施します。 (いずみ中央)新人ケアマネジャー研修、主任ケアマネジャースキルアップ研修実施予定。 (下和泉)区内包括と合同で新任ケアマネ研修を実施します。実習については、地域の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの協力を得て実施します。(計3回予定) (上飯田)新任ケアマネ研修を区内の包括と協力しながら開催します。その他にも事例検討会や民生委員との交流機会を開催していきます。(月1回程度) (新橋)新任ケアマネジャー研修については区内ケアプラザと協働して合同研修に取り組みます。主任ケアマネジャー研修は連絡会の後方支援を行います。 (いずみ野)区内包括合同で新任ケアマネジャー研修を実施します。地域の居宅支援事業所の主任ケアマネジャーの協力で実習を行うことでスキルアップを図ります。	【高齢者支援担当】 ・新任ケアマネジャー向け研修 3回 ・6包括合同研修 5回 (いずみ中央) ・区内包括合同で、新任CM研修3回実施。 ・新任CM研修3日目は、エリア内居宅の主CMIに同行訪問を担当してもらった。 (下和泉) 区内6包括合同新任ケアマネ研修3回(上飯田) 新任ケアマネ研修会 1回 事例検討会 1回 民生員との交流機会 2回開催(新橋) 6包括合同で新人ケアマネ研修(3日間)実施 (いずみ野) ・区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施(3回) (踊場) 区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施する。(2回)	【高齢者支援担当】 ・新人ケアマネジャー研修を区内6包括と区で合同で開催しました。3回コースで、第1回目は9/21に講義形式、第2回目は10/26に区内施設見学、第3回目は居宅主任ケアマネジャーとの同行訪問を行いました。例年よりも参加者が多く、介護保険外サービスの説明や施設見学等、今後の業務の参考になると好評をいただいています。 ・区内ケアマネジャー向けに、合同ケアマネ連絡会として、年6回研修会を開催しました。 ①4/23認知症支援者向け研修、②5/17支援者のためのグリーフケア、③見える事例検討会、④9/28ICFの基本の「キ」、⑤アルコール依存症の理解と関わり、⑥虐待研修 毎回40～60名程度の参加も得られ、それぞれのテーマについての知識向上と情報共有の場となりました。 (いずみ中央) ・区内包括合同で、新任ケアマネジャー研修3回実施。 ・新任ケアマネジャー研修3日目は、エリア内居宅の主任ケアマネジャーに同行訪問を担当してもらいました。経験のある主任ケアマネジャーに新人ケアマネジャーが同行することで、多くのことを学ぶ機会となりました。 (下和泉) 区内包括との合同で、年3回研修を実施しています(座学・施設見学・実習)。実習については、担当地区の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの協力のもと、1名実施しています。 新任ケアマネ研修会 1回 事例検討会 1回 民生員との交流機会 2回開催(新橋) 6包括合同で新人ケアマネ研修を3日間行ないました。【ケアプラザの役割・権利擁護】[介護保険外サービスについて][区社協の役割]講義、施設見学[3箇所]で、後方支援を行ないました 【いずみ野】 区包括合同で新任ケアマネ向けの研修を3回実施しました。 (踊場) 区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施しました。 インフォーマルサービスの情報提供を含め、業務の説明と施設見学を行いました。
			様々な相談に対応できるよう、関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	連絡会・研修会の実施回数	地域ケアプラザ	包括エリアのケアマネジャー連絡会 新任ケアマネジャー支援研修等の開催	介護保険ケアマネジャーを対象とした情報共有、スキルアップの研修を企画・実施します。	(いずみ中央)区内包括合同やエリア内共催で、ケアマネジャーのスキルアップが図られるようなケアマネ連絡会を実施する。 (下和泉)区内包括合同ケアマネ連絡会・ケアマネフォンテ(区CM連絡会)、CPエリアのケアマネ連絡会を計10回開催します。 (上飯田)他の包括との合同での勉強会に加え、地域の特性を考え民生委員との情報交換や事例検討会、研修会を開催し、様々なケースに対応できるようスキルアップをはかっていきます。 (新橋)「街の駅 ケアマネサロン」の実施と他包括、フォンテ合同での研修会を実施します。 (踊場)エリア内で活動するケアマネジャーのスキルアップを目的に、勉強会、事例検討会、情報交換会を年10回開催します。 (いずみ野)区包括合同やケアマネフォンテと合同で、エリア内で活動するケアマネジャーのスキルアップを図るため、勉強会や事例検討会を開催します。	(いずみ中央) ・区包括合同のケアマネ連絡会:6回 ・エリア合同のケアマネ連絡会:4回 (下和泉) 下和泉CPケアマネ連絡会 3回 区内包括合同ケアマネ連絡会 6回 (上飯田) 他の包括との合同での勉強会 9回 地域の特性を考え民生委員との情報交換(2回) 事例検討会(1回)開催 (新橋) ・「街の駅 ケアマネサロン」4回実施 ・(包括フォンテ合同含め) 11回 (踊場) 単独開催・区内包括合同開催 計11回 (いずみ野) 区包括合同、他ケアプラザと共催で連絡会を11回	【いずみ中央】 ・区包括合同のケアマネ連絡会:6回 (下和泉) 下和泉CP単体のケアマネ連絡会を年3回開催しました(事例検討会・民生委員・インフォーマルサービス団体との懇談会・CM対象の介護予防講座)。区内包括合同ケアマネ連絡会を年6回(4月・5月・7月・9月・12月・1月)開催しました。 (上飯田) 他の包括との合同での勉強会 9回、地域の特性を考え民生委員との情報交換(2回)や事例検討会(1回)開催し、様々なケースに対応できるようスキルアップを図りました。 (新橋) 「新橋街の駅ケアマネサロン」をケアマネジャーのスキルアップや情報共有を目的とし、5回(「介護保険改正・報酬改定」「リハビリの視点からとらえた法改正のポイント」「訪問看護を上手に活用する」「災害と後見人制度」「地域の生活支援ボランティア・団体活動紹介と懇親会」)実施しました。加算算定の理解や、ケアプランの明確な目標が計画書作成に必要な理解でき、医療職との関わりの中で疑問や本音を発言できたり、民生委員や地域のボランティアとの顔合わせにより、介護保険でカバーできない細かい支援を再確認し連携努力するの思いを持てることができました。区内包括合同ケアマネ連絡会やケアマネフォンテと共催研修に協力しました。 (踊場) 単独開催・区内包括合同開催 計11回 ケアマネジャーのスキルアップを図るため、区包括合同やケアマネフォンテ、他ケアプラザ共催でケアマネ連絡会を開催しました。
			公的サービスの相談だけでなく、様々なニーズに対応できるよう、インフォーマルサポートやボランティア活動等のサービスの仕組みづくりを進めます。	仕組みづくりの取組	区社協	身近な地域のつながり・支え合い活動の推進	ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で相談を受けると共に、把握した個別のニーズを地域のインフォーマルサービスにつなぐ仕組みづくりを進めます。	【区社協】 子どもの支援(不登校、居場所)についてや、身近なつながりを作っている事例や手法を学ぶ機会を地域住民だけでなく支援者にも作り、実際に支援マップを地域で作成します。子ども食堂等の居場所づくりの支援として、JA横浜等の企業と連携して食支援を実施するとともに、仕組みについて検討します。	・子ども家庭支援課担当係長、SSWとの意見交換…1回 ・近隣地区ケアマネジャー研修会…1回	【区社協】 ・不登校児等の現状について、子ども家庭支援課、スクールソーシャルワーカーと意見交換を行いました。 ・ケアマネジャー向け研修会の講師を探し、コミュニケーションを難しいとされる家族への関わり方や相談ができることとして、ユースプラザとの関係づくりを行いました。 ・JA横浜からの野菜提供について、2か所の食堂へ食支援を行いました。

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
1 健やかに過 ごせるまち	2 安心して暮 らし続けら れる環境をつ くる	2 妊娠期から の切れ目の ない子育て支 援	<p>養育者が安心して子育てできるよう、母子健康手帳交付や、乳幼児健診等の機会を活用し、適切な支援につなげます。</p>	<p>①母子手帳交付時面接数 ②母子訪問時の養育チェックシートの活用件数 ③地域子育て支援向上のための検討会、研修会</p>	区こども家庭支援課	早期養育支援事業	<p>母子訪問時に養育チェックシートを用いて聞き取りを行い、母親のきめ細かな心理状態の把握を行い、支援につなげます。</p>	<p>【こども家庭支援課】 母子訪問時の養育チェックシートの活用をさらに推進することで、育児不安を抱える母親を早期に把握し、必要に応じて保健師による訪問・連絡等の継続支援につなげます。また、泉区にモデル配置される母子保健コーディネーターとの連携による切れ目のない支援に取り組みます。</p>	<p>【こども家庭支援課】 ①1,063件(母子Co 394件 職員 669件) ②607件(委嘱母子訪問員423件 職員184件) ③H31年度計画</p>	<p>【こども家庭支援課】 母子訪問時に養育チェックシートを用いて、産後うつ早期発見、継続支援の判断をし、必要な場合には、保健師による訪問、医療機関受診勧奨、支援サービスの導入が早期に対応できるようになりました。 ハイリスク妊婦や特定妊婦は職員に引継ぎ、その他支援が行き届かなかった健全層へは母子コーディネーターが担当する事で、全ての妊娠に対し、妊娠前から子育て期への切れ目のない支援ができるようになりました。</p>
			<p>養育者の多様な保育・教育ニーズに対してきめ細かな相談、情報提供等を行います。</p>	相談件数	区こども家庭支援課	保育・教育コンシェルジュ	<p>保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるためのきめ細やかな相談、情報提供等を、保育・教育コンシェルジュが行います。</p>	<p>【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュによる、保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるため、区役所の窓口だけでなく、地域子育て支援拠点すきっぷや子育て支援者の育児相談会場での出張相談を行います。</p>	<p>【こども家庭支援課】 933件</p>	<p>【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュが出張相談を行うことで、小さなお子さんを抱える保護者が区役所まで足を運ばなくても、保育園、幼稚園の相談が出来る環境を作ることができたとともに、赤ちゃん教室の場を活用し、案内を行うことで、相談しやすい環境づくりを行うことができました。</p>
			<p>新入生とその保護者が小学校入学による生活や環境の変化にスムーズになじめるよう、保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の相互連携をさらに進めていきます。</p>	連携して行った取組	区こども家庭支援課	<p>まちの学校連携推進事業 放課後児童育成事業 保育施設等との協働による子育て支援推進事業 幼・保・小教育交流事業</p>	<p>泉区内の放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクール・放課後児童クラブの運営を支援し、児童の安全で健やかな放課後の居場所を提供します。 ※その他、保育園・小学校の情報交換などを適宜支援</p>	<p>【こども家庭支援課】 幼稚園・保育園・小学校の交流事業である園長・校長会、実践交流会の開催を支援するとともに、必要に応じて個別の情報共有・連携の取組の支援を行います。</p>	<p>【こども家庭支援課】 (幼・保・小教育交流事業) 園長校長会・実践交流会(2月)</p>	<p>【こども家庭支援課】 31年2月18日に幼・保・小教育交流事業として園長校長会・実践交流会が開催され、保育園・幼稚園と小学校との間での情報交換が行われたことにより、相互連携が進められました。</p>
			<p>孤立や疾病等による育児不安から児童虐待につながるリスクを減らし、有効な支援につなげるために、広報や講演会等による啓発を進めていきます。</p>	啓発の取組実績	区こども家庭支援課	児童虐待防止啓発地域連携事業	<p>地域と連携した児童虐待防止に関する広報・啓発事業を実施します。</p>	<p>【こども家庭支援課】 区民まつりやチャリティコンサートなど地域住民向け行事をとりえて啓発リーフレットの配付を行うほか、地域の関係機関に向けた講座の実施、広報への啓発記事の掲載等を行います。</p>	<p>【啓発事業】 ・区民まつり:11月3日参加者300人 ・チャリティコンサート:11月23日参加者542人 ・庁内各課説明:11月1日～13日参加者363人 《関係機関説明》 8団体:200人 保育園長会、幼稚園教諭学習会、小学校長会、中学校長会、児童支援専任・生徒指導支援専任会、泉区民生委員児童委員協議会、主任児童委員連絡会、飯田地区民生委員児童委員協議会</p>	<p>【こども家庭支援課】 虐待予防、虐待への気づき、発見時の対応、日頃の見守りについて様々な場面で広く普及啓発することで、相談件数が増え関係者の早期連携ができるようになりました。区民まつりやチャリティコンサートで啓発リーフレットの配付、広報11月号に啓発記事の掲載する事で区民向けに虐待予防(気づきと通告、見守りの地域づくり)について周知啓発をしました。 また、要保護児童対策地域協議会関係団体(8団体)に対しては、「子ども虐待防止ハンドブック」の活用について説明し、虐待発生時の対応と通告、日頃の見守り支援、関係者間の連携について周知することで、連携が図られました。 区職員に対しては、朝のミーティング時間を活用して出前出張講座として、虐待予防に関する事業説明と協力依頼をすることにより円滑な連携が図られるようになりました。</p>

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
1 健やかに過 ごせるまち	2 安心して暮 らし続けら れる環境を つくる	3 住み慣れた 地域で安心 して暮らす ための仕組 みづくり	高齢者や要介護者が在宅で継続的な医療・介護を受けることができる仕組みづくりを進めます。	在宅医療連携の取組	区高齢・障害支援課	在宅医療連携推進事業	区医師会と連携して、医療機関と介護サービス提供機関相互の連携の強化を進めます。	【高齢者支援担当】 ①多職種連携会議 在宅医療連携上の課題や対応策を、医療・介護に関わる職能団体の代表者が集まり検討します。年2回実施予定。 ②事例検討会 区内の医療・介護関係者による在宅医療連携上の課題や対応策の検討を事例検討会を通して行います。年3回実施予定。 ③人材育成研修 医療と介護の連携を推進するため、年1回実施予定。 ④市民向け講演会 在宅医療について市民に普及啓発するため、12月に実施予定。	【高齢者支援担当】 ・多職種連携会議 2回 ・事例検討会 3回 ・人材育成研修 1回 ・市民向け講演会 1回	【高齢者支援担当】 ①多職種連携会議 年2回開催しました。医療・介護に関わる職能団体の取り組み状況や困りごとを共有し、新たな連携も行われています。多職種連携会議のメンバーを主体とした情報共有ツールを作成するためのワーキンググループも立ち上がりました。ワーキンググループでは5回検討会を開催し、多職種が活用できる冊子の作成を進めています。 ②事例検討会 年3回開催しました。泉消防署、訪問介護事業所、後方支援病院から事例を提供していただき、多職種で共有し顔の見える関係づくりを促進しました。 ③人材育成研修 認知症初期集中支援チームの活用に向けて、先進的に取り組んでいる鶴見区認知症初期集中支援チームを講師に招き、泉区での活動の普及啓発や課題の整理を行いました。 ④市民向け講演会 12月9日に横浜市医師会常任理事の赤羽重樹医師に依頼し、「在宅医療を考えることになったら」というテーマで公会堂にて講演会を行いました。市民向けに在宅医療についての普及啓発ができました。
			地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を行います。	見守り事業の実施者数 見守りからつながりができた取組	区福祉保健課	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業	地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を民生委員、包括支援センターと連携して行います。	【運営企画係】 民生委員及び包括支援センターに対して、75歳以上のひとり暮らし高齢者について行政が保有する個人情報を提供することにより、支援を要する人を効果的に把握できるよう支援します。把握した状況に応じて、相談支援や地域における見守り活動等に的確につなげられるよう、民生委員、包括支援センター、区福祉保健センターが情報共有しながら取り組みます。	【運営企画係】 6,026人(対象者数) ◇区・包括・民生把握数4,634人(77%) ◇区・包括・民生未把握数728人 ◇相談支援、見守り活動につながった数170人	75歳以上の一人暮らし高齢者全体数6,026人のうち、区、包括、民生委員がかかわりのある方は4,634人で、全体数の77%に当たることは普段から区民が安心して暮らせる仕組みがほぼ構築できていると言えます。また、最終的に状況を把握していない方が728人いましたが、そのうち700人の方と面会ができ、状況が把握できました。面会できた方のうち、新たに170人の方を相談支援や見守り活動等につなげることができました。
			認知症など的高齢者を介護する人が孤立しないよう、介護者の集い等を行います。	集いの実施内容	地域ケアプラザ	介護者のつどいの開催	高齢者を介護する人の情報交換・交流の機会を図ります。	(いずみ中央)介護者のつどいを2か月に1回開催します。(4月、6月、8月、10月、12月、2月の予定)茶話会だけでなく参加者のご要望に応じたミニ勉強会を企画実施します。 (いずみ野)いずみ中央ケアプラザと共催し、2か月に1回(偶数月)に“介護者のつどい”を開催します。 (下和泉)年2回開催の富士見が丘地区社協主催の介護のつどいを後方支援します。また、介護する人や介護した人が集える場を提供し、情報交換・交流の機会を作ります。認知症カフェ「ほかほかサロン」でも開催し交流の機会を増やします。 (上飯田)介護者の集いを隔月(偶数月)で開催します。介護者同士の情報交換、専門職からの情報提供のほか施設見学会や勉強会を実施しています。 (新橋)年間10回第4火曜日定例で行います。各回にゲストスピーカーをお願いし情報提供します。 (踊場)介護している方、経験者の方と交流できる時間が持てるようにし、介護者が孤立しないように支援します。月1回定例で開催します。	(いずみ中央)年6回実施 のべ19人参加 (いずみ野)6回開催 延べ15名 (下和泉)8月 26名 11月 17名/ほかほかサロン 12回開催 361名参加 (上飯田)6回 34名 (新橋)介護者のつどい 10回32人 (踊場)介護者懇談会 12回開催	【いずみ中央】 いずみ野地域ケアプラザと共催にて2ヶ月に1回介護者のつどいを開催しました。介護者同士の情報交換や、薬剤師の方による薬の話などのミニ勉強会を実施しました。 【いずみ野】 いずみ中央ケアプラザと共催で偶数月(6回)開催する。4月にはとろみの食事の試食を行いました。6月に認知症の服薬に支援を知りたいという話があり、8月に薬剤師を講師に来てもらい薬の管理をしやすくするための工夫や実際に支援した事例について話をしてもらいました。参加者の声を聞き、その都度対応を行いました。 (下和泉) 8月は情報交換を行い、11月は福祉用具の使い方をを通して情報交換や交流の場を提供しました。 認知症カフェ「ほかほかサロン」は毎月、開催し交流の場を増やしました。 (上飯田) 介護者の集い偶数月(計6回)行いました。参加者より認知症の理解について希望もあり、グループホーム見学会、認知症の勉強会を行いました。レクでは介護者の介護疲れなど気分転換を図ったりしたことが、参加者同士の情報交換がしやすくなり交流が図れました。 (新橋) 計画通り年10回開催しました。ケアマネジャーやグループホームの職員からの話を聴く機会を作ることもできました。当事者の率直な悩みや疑問を知ることができ、地域での関わりの難しさがあることを知りました。地域の中での認知症に対する理解を高める啓発活動の必要性を感じました。 (踊場) 介護者懇談会として、介護している方、介護経験の方と交流できる場を作りました。月1回開催しました。
			経済困窮等、生活していくことが困難になっている人に、継続的な生活の安定・自立を目指した支援を行います。	自立支援に向けた取組	区生活支援課	生活困窮者自立支援制度の実施	生活に困窮した人に対し、就職や家計支出の改善などを通じて、継続的な生活の安定・自立を目指します。	【生活支援課】 ① 年度替わりに合わせて、関係各課での事業説明・PRと協力依頼を行います。 ② 庁内連携を深めるために、センター社会福祉職会議に出席します。 ③ 地域ケアプラザのネットワークを活用して情報発信・情報収集をします。 ④ 自立支援協議会の分科会に参加し、制度周知、情報収集に努めます。 ⑤ 地域支援チームの会議を通じ、制度周知、情報収集に努めます。 ⑥ 内容を工夫して広報への掲載等を行い、相談者の掘り起こしを図ります。	・新規相談者数(実数) 215人 ・申込者数(実数) 63名 (H31.2. 28現在)	【生活支援課】 ① 庁内連携のため公租公課部門での事業説明を行い、定例打合せ(職員研修含む)を行いました。 ② センター各課との連携強化のため、定例支援調整会議を2回行いました。また、各課で行う関連の会議に出席しました。 ③ 地域子育て支援拠点すきっぷにて子育て世代向けの家計講座を開催しました。 ④ 自立支援協議会等新たな連携先との会議に出席し、周知や研修を行いました。 ⑤ 下和泉地区の地域支援チーム会議に参加し、地区での制度周知から関係機関との新たな連携の取り組みが進みました。 ⑥ 広報よこはま泉区版にイラスト入りの記事を掲載しました。また地域福祉保健計画推進イベントでのパネル展示、課内での案内・研修実施等を行いました。また、広報用ティッシュと課内向け通信を作成し、周知に活用しました。
			経済困窮等に関する制度について関係機関との共有 →生活困窮等世帯に対する支援の取組		区社協	生活困窮者自立支援制度の実施 →生活困窮等世帯への関係機関と連携した支援の実施	相談者の状況に応じて、関係機関との連携を図った支援を目指します。	【区社協】 過去に制度利用された借受世帯や新規相談者の支援において、これまで以上に密な関係機関との連携を進めるとともに、相談者等の身近で見守っている民生委員児童委員との連携を深めます。 また、フードバンク等と連携して食糧支援について取り組みます。	【区社協】 ・今年度は、記録的な猛暑となり、経済的にエアコンの購入ができない方への相談支援や購入費用の貸付を多く行いました。その他、食糧支援や生活費の貸付等、多岐にわたる相談支援を行いました。 ●貸付決定件数 ・教育支援資金…27件 ・生活福祉資金…13件 ●食糧支援…19件	【区社協】 ・今年度は猛暑より、例年と比較してエアコン購入資金の貸付申請が多くありました。9割が高齢者世帯の申請で児童のいる母子世帯からの申請も1件ありました。

推進の 1	重点 項目 2	取組 名 3	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
健やかに過ごせるまち	安心して暮らし続けられる環境をつくる	住み慣れた地域で安心して暮らせるための仕組みづくり	認知症高齢者や障害者等の財産を守る権利擁護や成年後見等の理解を進め、制度の活用を推進します。	講座・講演会の開催 権利擁護事業の啓発への取組	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	権利擁護講演会の開催	成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進するため、区域、包括エリアでの講演会・出前講座等を行います。	【高齢者支援担当】 地域の権利擁護に関する課題を検討し、地域の権利擁護関係団体等のネットワークを強化することを目的として、成年後見サポートネットの全体会を年3回、分科会を年1回実施します。また権利擁護事業の一環として、自己決定支援のツールとして「わたしの人生計画帳」を増刷し、エンディングノートの普及啓発に向けた講座を区と各地域ケアプラザで開催します。 (いずみ中央)地域の会館を利用して成年後見制度に関する講座を実施します。区域では、区内包括支援センターと区共催で講座を区役所にて行います。 (いずみ野)地域住民の方が理解しやすい権利擁護や終活についての講座を開催します。また、地域のサロンなどに出前講座で成年後見制度について開催し、普及啓発に努めていきます。 (下和泉)区役所と区内社会福祉士連絡会と共同で昨年度改訂したエンディングノートを用いて、区役所と区内包括の共催で連続講座を行います。また、地域に出向き、普及啓発活動を行います。自主事業では、地域の実情に応じた権利擁護事業に関する講座や相談会等を実施し、普及啓発に努めます。 (上飯田)成年後見制度の普及・啓発に向けて前期と後期に分けて出前講座を行います。区内包括支援センターと区共催では、秋ごろエンディングノートにして講座を区役所にて行います。決定したエンディングノートを使用して、書き方講習会また消費者被害に関する講演会を自治会単位で開催します。 (新橋)地域サロン等講座で成年後見等権利擁護の講座を開催します。	・成年後見サポートネット 全体会・年3回、分科会・年1回 ・エンディングノートの講座実施。1回 ・泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」の微修正を行いました。平成31年度はページ数増の改訂を行う予定です。 (いずみ中央) 踊場地域包括と共催で立場地区センターで相続と遺言講座を開催し、43名の参加。初の試みとして地域の会館(泉中央公園集会場)を利用して成年後見制度に関する講座を実施し16名の参加。区域では、区内包括支援センターと区共催で講座を区役所にて実施しました。 (いずみ野) 「相続・遺言(個別相談あり)」2回60人 「成年後見制度」1回 35人 「エンディングノート活用講座(3回連続講座)」1回 71人 「消費者被害防止」2回 26人 (下和泉) 老いの不安解消講座6回 延べ参加人数123名 (上飯田) 区と共催 1回 約60人 自主事業 3回 61人 サロン 2回 23人 (新橋) エンディングノート書き方講座(3回連続講座 78名。いずみ野ケアプラザにて共同開催 介護者のつどい 計10回 32名参加 (踊場) 『相続・遺言とエンディングノートの活用』の講座を開催	【高齢者支援担当】 ・成年後見サポートネット、全体会を年3回、分科会を年1回実施しました。事例を通して専門職からアドバイスを貰い、ネットワーク構築に努めました。 ・泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」の修正を行いました。平成31年度はページ数増の改訂を行う予定です。 ・今後の人生についての様々な意思決定のきっかけにつながるよう、エンディングノートの講座を実施しました。講師を招き、実際にエンディングノートを記入する実践的な講義で、自身の今後の人生について考えてもらう一助となりました。 【いずみ中央】 踊場地域包括と共催で立場地区センターで相続と遺言講座を開催し、43名参加がありました。初の試みとして地域の会館(泉中央公園集会場)を利用して成年後見制度に関する講座を実施し、16名の参加がありました。区域では、区内包括支援センターと区共催で講座を区役所にて実施しました。 【いずみ野】 「相続・遺言」をテーマとした講座を、共催事業と自主事業で開催しました。「成年後見制度」の出前講座をシニアクラブで行い、ケアプラザの講座などに参加しない方々にも普及啓発できるよう努めました。「消費者被害防止」の自主事業と地域サロンへの出前講座を行いました。消費生活推進委員とも連携し情報交換を行いました。「エンディングノートの書き方」と共に、知って準備しておくことが重要な終末期医療やお葬式等について学べる講座を連続講座で開催し、講座を通して、地域ケアプラザは権利擁護の相談窓口という役割もあることを周知しました。 (下和泉) 自主事業としては、権利擁護の一環として、老後の不安解消のための講座を地域住民向けに4回連続シリーズとして実施しました。市域で普及啓発しているエンディングノートを活用し、①相続・遺言や成年後見制度②施設見学会③介護・医療についての講座を開催しました。 【上飯田】 区と区内の包括共催で就活セミナーとしてエンディングノート普及のための講座を開催しました。地区センターでは成年後見制度(遺言相続)の出前行為座を行い25名の参加がありました。 サロンなどでエンディングノート改訂版配布やノート活用の仕方の説明会を行い地域の普及啓発に努めました。 (新橋) 地域住民の方へ「成年後見制度について」の講座を行いました。これからのライフスタイルの傾向として、「自分がどうしたいか、どうしてほしいか」を考えていただくきっかけ作りとなることを目的としました。 (踊場) 『相続・遺言とエンディングノートの活用』の講座を開催し、相続と遺言の講演により、エンディングノートを活用することにより意思の整理をしてもらうよう、権利擁護の普及啓発に努めました。
			新規相談件数 利用件数	区社協	権利擁護事業(あんしんセンター)の推進	日常的な金銭管理等が困難な高齢者や障害者に対して、金銭管理や福祉サービス利用を支援します。	【区社協】 利用件数50件を目標とします。支援者向けにあんしんセンター制度説明の場を作り、周知します。	【区社協】 ・新規相談件数:49件 ・利用件数:46件	【区社協】 ・3月末までの利用契約数36件。(契約待ち1件あり) 和泉中央児協と新任ケアマネジャー研修にて、あんしんセンターの制度説明を行いました。	
			講座参加人数	区社協	成年後見制度の周知	認知症高齢者や障害者等の財産を守る成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進します。	【区社協】 障害者後見の支援室「シード」や生活支援センター「芽生え」と連携を取りながら、成年後見制度の周知をしていきます。また、社会福祉士連絡会に参加して、権利擁護の普及啓発に取り組みます。	・上飯田地区見守り会議:40名参加 ・和泉中央児協:26名 ・新任ケアマネジャー研修:26名 ・踊場地域ケア会議:8名 ・台谷戸サロン:20名	【区社協】 ・高齢者サロンであんしんセンター制度説明と合わせて、成年後見制度について周知しました。 社会福祉士連絡会は日程が合わず12月のみ出席しました。次年度は日程を確保して引き続き出席します。 ・区民向けに、障がい者のための成年後見制度講座を開催しました。	
			市民後見人育成の取組	区社協	市民後見人の支援	市民後見人に関する啓発や、市民後見人になった人への研修や支援を行います。	【区社協】 後見活動に対する情報提供(ボランティア情報など)を中心に顔の見える関係づくりをしています。年2回/バンク登録者と面談を行います。また、高齢・障害支援課と連携し、バンク登録者が市民後見人を受任できるよう取り組みます。 第4期市民後見人養成講座開講にあたり、受講者の支援に取り組みます。	【区社協】 ・成年後見サポートネット全体会:年3回 ・成年後見サポートネット分科会:年1回	【区社協】 ・年2回バンク登録者との面談を行いました。 ・第4期市民後見人養成講座受講者へ、泉区社会福祉協議会の事業説明や、区内のボランティア団体施設の見学を行いました。 ・サポートネット全体会を3回、分科会を1回行いました。分科会ブロックテーマは「関係諸制度を学ぶ」ということで、泉区での分科会では生活支援課ケースワーカーより、生活保護についてミニ講座を開催しました。	
			障害者・高齢者への虐待の早期発見・対応ができるよう区民への啓発を進めるとともに、発見時やその後の適切な対応ができるよう、関係機関と綿密に連携します。	区高齢・障害支援課	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待を防止するための区民や関係機関への啓発や、関係機関との連携を目的とした会議を行います。	【高齢者支援担当】 高齢者虐待の防止、早期発見・対応を目的として、高齢者虐待防止連絡会の開催(1回)、ケアマネ向け高齢者虐待対応研修(1回)を開催します。 また、地域包括支援センターや介護事業所などと連携して、高齢者虐待に早期発見、早期対応ができるよう取り組みます。 高齢者虐待防止の普及啓発のため、リーフレットの配布や広報へ記事を掲載をします。	【高齢者支援担当】 ・高齢者虐待防止連絡会 1回 ・区・包括向け高齢者虐待対応研修 1回 ・ケアマネ向け高齢者虐待対応研修 1回	【高齢者新担当】 ・高齢者虐待防止連絡会を1回開催しました。各関係機関と区役所休庁時間帯での虐待発生時の対応について話し合いを行いました。 ・ケアマネ向けにも虐待対応研修を実施し、情報共有を図りました。 ・市民向けにもリーフレットの紹介、広報への掲載等を通じ、普及啓発に努めました。	

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
人と人、活動と活動のつながりがあるまち	地域の中でより多くの人との交流を進める	様々な人との交流の推進	「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。	参加者数 大会からの交流の取組	区高齢・障害支援課 区社協	ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会開催支援	軽スポーツを通じて障害児・者の社会参加や中高生との交流を実行委員会形式で行ないます。	<p>●ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月19日(土)開催予定 参加者1,300人見込み ・大会の開催により、区内の障害者と中学生、区民の方々等が互いに理解し合い、心を通わせ、助け合えるような心を育みます。 <p>【区社協】 障害のある方との交流事業として今後も大会が継続されるよう実行委員会事務局として大会開催に向け取り組みます。また、障害団体に対し実行委員会への関わりが一層深くなるよう働きかけ、大会を作り上げていきます。</p> <p>【障害者支援担当】 青少年指導員、民生委員・主任児童委員、区内の中学校ボランティア、岡津中学校ダンス部と協力しながら、障害児・者と一緒に大会を作っていきます。また、30年度も引き続き、企業・団体から協賛をいただき、5月19日に大会を開催します。</p>	約1,267人	<p>●大会の開催実績</p> <p>開催日時：平成30年5月19日(土)10:00～14:30 開催場所：和泉遊水地4池 参加者：1,267人 【区社協】 ・今大会も、スポーツを通じて障害のある方と中学生等が交流を図りました。今回は、障害理解の啓発を目的としたテントを設置し、障害者スポーツの紹介や障害のある方を取り巻く災害時の取組み、障害事業所での自主製品の展示など実施しました。5月19日(土)に開催し1,267人が参加しました。</p> <p>【障害者支援担当】 2企業から食料品の無償または低額での提供、および9団体から補助金・協賛金をいただくことができました。また、競技時間の短縮に向け、既存競技を廃止し新競技を行いました。</p>
			小・中・高校生や保護者に対し、乳幼児や高齢者、障害者についての学習・体験をしてもらう機会を提供し、理解を進めるための機会を企画・実施します。	参加者数 地域での福祉教育を通じた取組	区社協	地域の方々や障がいのある方による学校への福祉教育、啓発事業の実施	<p>【区社協】 先生のための福祉教育連絡会(近隣区合同)を開催します。学校が依頼する福祉教育で当事者や地域の方々との出会いや多様な生き方に触れることにより、普段の暮らしの幸せの実現に向け、生徒自身が主体的に考え、行動し、共に生きる力を育むキャリア教育の推進につなげていきます。</p>	<p>【区社協】 ・実施回数 9団体 ・参加者数 延べ1,722名 ・機材貸出 3団体</p>	<p>【区社協】 ・福祉教育の内容を体験することで授業に活かすため、先生のための福祉講座(近隣区合同)を開催しました。近隣区で合同開催しましたが都合が合わず泉区からの参加はありませんでした。 ・誘導体験の講師をしていたボランティア団体が解散しましたが、新たな講師の開拓などに取り組み、福祉教育を実施できました。福祉教育サポーターなど地域のボランティアと協力しながらも福祉教育に取り組みました。</p>	
			受入れ施設数 交流や理解を深める取組	区社協	サマースクール事業	小中学生が夏休みに区内の保育園や高齢者・障害児者施設でボランティア体験を行い、交流や理解を深めます。	<p>【区社協】 学校と連携しながら、児童・生徒が主体的に参加できるよう調整します。また、参加者が引き続き他の活動にも参加できるよう紹介しながら、児童・青年期から福祉に対して関心を持てるよう働きかけます。</p>	<p>【区社協】 ・協力施設等 16施設</p>	<p>【区社協】 ・学校や受入れ施設と連携しながら、児童・生徒が多く参加できるよう調整し、参加者が抽選からもらえることなく参加、体験することができました。参加者が引き続き他の活動にも参加できるようジュニアボランティアの活動を紹介し、泉区民ふれあいまつりやチャリティコンサートでのボランティア活動につながりました。</p>	
施設などでの誰もが参加できるお祭りのような場で、活動グループを知ってもらうための機会を設け、活動グループと地域住民の交流を進めます。	イベントを通じた交流の取組	地域ケアプラザ	活動団体発表会の開催 ケアプラザまつりの開催	各地域ケアプラザ主催のイベントにて、地域活動グループの紹介や交流の機会を図ります。	<p>(いずみ中央)多くの地域の方々や作業所などが交流できる場をめざし、今年度もそよ風フェスタを継続して実施。また、ケアプラザをご利用されている方向士の交流の場となるよう貸室団体交流会、ボランティア感謝と交流の集い等各種事業を実施。</p> <p>(下和泉)ケアプラザ利用団体が地域貢献の一步を踏み出す場、自分たちの活動を広げる場として、お祭りや講座などの企画を共に実施していきます(スプリングフェスティバルなど)。部屋利用団体交流会(年2回)では、団体同士の交流の場を提供します。また各々の課題を共有し、課題に対して個々の団体が対策を考えていけるよう支援していきます。</p> <p>認知症カフェ「ぼかぼかサロン」の企画協力を通じて活動団体と地域住民の交流を図ります。</p> <p>(上飯田)自分たちの活動を広げる場として、ケアプラザ主催の事業を活動団体と共に協力して実施します。また、部屋利用団体交流会(年1回)を通して、課題に対して個々の団体が対策を考えていけるよう支援していきます。</p> <p>(新橋)ありがとう祭(ケアプラザ祭)、団体交流会、年末大掃除を実施する予定です。</p> <p>(踊場)利用団体の発表の場として、第5火曜に開催します。</p> <p>(いずみ野) ①いずみ野わくわく祭りを開催し、貸室団体などの情報発信の機会や活動の場の提供を行います。 ②下半期には相鉄・横浜市・和泉北部連合と連携しイベントを行います。その際に貸室団体の活動の場を提供する予定です。</p>	<p>(いずみ中央) ・そよ風フェスタ1回 約1,000人弱 ・貸室団体交流会1回 28人 ・ボランティア感謝と交流の集い1回35人 (下和泉) 利用者懇談会 2回・計 120名 スプリングフェスティバル 延べ4,552人 (上飯田) ふれあい連絡会 17団体34名 焼き芋チャリティー 95名 年末貸室団体交流会 31名 (新橋) 会場利用団体交流会 1回・25人 団体大掃除 1回・56人 ありがとうまつり1回・約700人 (踊場) 利用団体発表会3回 143人 (いずみ野) ①9月1日「いずみ野わくわく祭り」実施 参加者：190人 貸室登録団体6団体活動 同日開催「いずみ野マルシェ」へのケアプラザからの働きかけによる、参加団体 泉区ヘルスメイト・和泉中央・和泉北部子育て支援ネットワーク(2団体) ②2月3日「相鉄いずみ野沿線環境未来都市節分際」ステージ発表1団体およびケアプラザ内、貸室利用団体1団体活動。</p>	<p>【いずみ中央】 今年度もそよ風フェスタ(1回参加者約1,000名)、貸室団体交流会(1回参加者28名)、ボランティア感謝と交流の集い(1回参加者35名)、ケアプラザグリーンアップ(2回参加者延べ158名)を継続して実施しました。</p> <p>(下和泉) 6月に利用者懇談会で福祉避難所としての役割と館内での災害時のルート確認を行いました。12月は大掃除を通して各団体の交流を行い、担い手不足の課題を共有し支援を働きかけました。2月のスプリングフェスティバルを通して各団体が発表の場や出店を行ない地域の方と交流を行ってきました。認知症カフェでは施設と連携を行いながら多世代交流を月1回(全12回)実施。うち4回は地域の活動団体が主な企画を担い、交流を行ってきました。</p> <p>(上飯田) ふれあい連絡会を実施し、主に上飯田地区の地域の活動団体を対象とした親睦会を行い、お互いの活動の紹介や交流を行いました。また、焼き芋企画でチャリティーを行い、地域の民生委員や町内会、YMCAキッズクラブの協力を得て、高齢者、障がい者、子ども連との多世代交流イベントを行いました。集金した義援金は日本赤十字を通して北海道胆振東部地震の義援金にあてました。</p> <p>(新橋) 継続事業である団体交流会・大掃除とありがとうまつりを30年度も実施しました。</p> <p>(踊場) 利用団体発表会では、利用団体のモチベーションアップと、地域の方との交流の場となっています。</p> <p>【いずみ野】 9月1日 いずみ野わくわくまつり いずみ野マルシェ+(プラス)と共催で実施しました。多くの方が来所され、ケアプラザ内および外ステージにおいては貸し室利用の6団体が参加し、日頃の活動の成果を発表しました。</p> <p>3月3日 いずみ野節分イベント(横浜市・相鉄・和泉北部連合)駅前広場を中心に親子で参加できるコンサートや豆撒きなどのイベントを行い多くの方で埋め尽くされました。ケアプラザとしては、特設ステージにてケアプラザ職員によるウクレレ演奏、館内では畑と田んぼの絵画教室の作品展を行いました。</p>			
サポートが必要な人への理解の推進	子育て世代が不安や悩みを抱えながら子育てをしている実情を理解し、周囲からのサポートを進めるためのきっかけとなるよう講座を開催する等、働きかけを進めます。	区域・ケアプラザエリアの実施回数 ネットワーク連絡会議の取組	区子ども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業 子育てネットワーク連絡会推進事業	泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を支えていくために必要な子育て課題に対し、関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、地域別5エリア、区域での子育て支援ネットワーク連絡会を開催します。	<p>【子ども家庭支援課】 区域の子育て支援ネットワーク連絡会では、これまでの検討経過を踏まえたテーマ設定のもと引き続き協議を行い、ネットワークの広がりに繋がる取組を企画します。また、区内5エリアごとに地域の実状に合わせて子育て支援の様々な取組を推進します。</p>	<p>【子ども家庭支援課】 区域2回 48人 エリア別65回</p>	<p>【子ども家庭支援課】 区域の子育て支援ネットワーク連絡会を年2回開催しました。関係機関の活動共有のために情報を資料化したことにより、相互の活動の参考となり連絡を取り合うなど連携が活性化しました。また、有志による支援活動として「赤ちゃんの駅」の検討が始まりました。</p> <p>今後の活動について「子育て支援連絡会」と名称を変更してメンバー構成を見直し、活動当事者による情報交換や、それぞれの活動、運営の工夫に活かすことを目的とすることを確認しました。</p> <p>エリア別子育て支援ネットワークでは、親子が参加し交流できる企画として、季節に応じたまつりや遊びの企画、定期的な公園遊び、エリア内の子育て支援関係者の学習会等、それぞれのエリアの子育て支援活動者による主体的な話し合いと活動が進んでいます。</p>		
		提供会員数	区子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点すきっぷ	横浜子育てサポートシステム事業	児童を預けたい人(利用会員)と児童を預かる人(提供会員)とが利用できるようコーディネートすることにより、地域ぐるみで子育てを支援していく「有償のボランティア」の仕組みです。	<p>【子ども家庭支援課】 提供会員の増に向け、広報よこはま区版での記事の掲載をはじめ、小・中学校でのチラシの配付の協力を依頼するなど、あらゆる機会を通じてPRを行い提供会員の増員を図り、利用会員のニーズに合わせた支援を実施します。</p>	30年度 90人 (※両方会員 36人)	<p>【子ども家庭支援課】 広報よこはま区版で事業周知及び会員募集の記事を掲載した他、小・中学校校長会を通じて、児童の保護者向けに提供会員募集チラシの配布を行い会員確保に努め、円滑な事業の運営による子育て支援を実施しました。</p>		
		講演会の参加者数	区子ども家庭支援課	発達障害児サポートセミナー	発達障害児や家族が地域で安心して生活できるよう、関係機関、地域住民に対し、普及啓発の講演会を実施します。	<p>【子ども家庭支援課】 泉区障害福祉自立支援協議会と連携しながら、地域住民等に向け、障害についての理解を促す内容の講演会を開催します。(11月頃)</p>	<p>【子ども家庭支援課】 セミナー参加者：82人</p>	<p>【子ども家庭支援課】 戸塚地域療育センターのセンター長(医師)：渡邊 幸恵氏を講師として、「発達障害児の理解～幼児期から学齢期の子どもの理解して関わるために～」というテーマで、講演会を実施しました。平成30年12月11日 参加者：82人 発達障害児について、保護者の理解だけでなく、支援者(保育関連施設、地域住民、家族)に理解が広がることで、地域や集団で安心して生活できることにつながりました。自立支援協議会の「子ども部会」で周知を当日の運営は、基幹相談支援センターと行いました。</p> <p>エリア別子育てネットワークや事業者による、障害理解の研修や講演会等があることから、次年度からは自立支援協議会や地域での活動者、事業者による障害理解の普及啓発を後方支援します。</p>		

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
人と人、活動と活動のつながりがあるまち	地域の中でより多くの人との交流を進める	サポートが必要な人への理解の推進	障害児・者や家族が感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発を行います。	相談件数	区社協	移動情報センター	障がい児・者の移動に関わる窓口として相談を受けコーディネートします。ガイドボランティアの事務取扱団体としてボランティアの確保に努めます。	【区社協】 ガイドボランティアの相談が多いエリアや担い手の少ないエリアを重点に、ガイドボランティア事業の周知や講座の開催などを行います。また、活動中のガイドボランティアのフォローアップに取り組みます。	【区社協】 ・実相談数 105件	【区社協】 ・計画相談員や区役所のケースワーカーからの相談が多く、必要な情報共有を進めながら、相談支援に取り組みました。 ・講座やガイドボランティア交流会を開催し、参加者が障がい理解を深める機会をつくり、ボランティア活動へつなげていくことができました。今年度は、踊場地域ケアプラザと共催で障がいのある人のボランティア養成講座を実施しました。ガイドボランティアは、家庭の事情などで登録をやめる方がいましたが、新たに5名の登録がありました。全体では、昨年度末と人数はほぼ変わらない結果となりました。
			障害児・者や家族が感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発を行います。	講座開催数	区社協	障害児・者と交流する事業や、理解を深めサポートを考えるための講座等の実施	福祉の作品展等で障害児・者との交流や、障害に関するボランティア講座の開催を通して理解を深める取組を進めます。	【区社協】 地域防災拠点運営委員会や地区社協、自治会町内会等に向けてセイフティーネットプロジェクト横浜の取組をツールに障害理解を進める啓発活動を行います。また、この取組が区域に広がるよう推進します。	【区社協】 ・セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座5件実施	【区社協】 ・地域防災拠点や自治会等で、セイフティーネットプロジェクト横浜の取組をツールとした障害理解講座を計5回開催しました。昨年に比べ、開催エリアは2地区拡充することができました。
			障害児・者への理解を深めるきっかけづくりの場として、障害児・者団体、障害福祉施設、地域作業所による自主製品販売支援の継続、業務依頼を行います。	出店回数	区高齢・障害支援課	自主製品等販売活動支援事業	区庁舎や区内各地イベントで各事業所の自主製品の販売の支援を行います。	【障害者支援担当】 区庁舎での自主製品の販売活動および市営地下鉄戸塚駅構内の泉区産の農産物の販売機会を支援します。 なお、自主製品の販売促進や販路拡大についての意向を把握するため、29年度に区内の障害福祉施設を対象にアンケートを行いました。その回答に基づき、30年4月から参加団体が1団体追加になる予定です。	【区庁舎での販売】 ・販売実績：244回(通年週5日) ・区内の障害者団体への出店希望の有無についてのアンケートを実施 ・区内障害福祉施設マップの作成(12月、2000部) 【戸塚駅での泉区産農産物販売支援】 ・販売実績：95回(通年週2回(水・金)) ・参加障害者団体との意見交換会の開催(1回、2月) ・事業の運用ルールを文書化(事業の目的、参加条件、障害者団体と区役所の役割分担など)要綱改正	【障害者支援担当】 区庁舎内での自主製品販売を通年週5日、戸塚駅での泉区産農産物販売を通年週2回(水・金)実施しました。 販売機会の支援により、障害のある方の社会参加の機会が確保されるとともに、販売を通じて地域の方との交流ができました。それにより地域の方にも障害福祉への理解についても深めていただく機会となりました。
障害児・者の余暇支援と、一緒に活動するボランティアの育成を行います。	実施回数、ボランティア参加者数 交流や理解を深める取組	区社協 地域ケアプラザ	ジュニアフレンド事業	障害児の余暇支援事業に、学生を中心としたボランティアが参加し、障害児との交流や理解を深めます。	【区社協】 泉地域活動ホームかがやきや地域ケアプラザ等と連携して、障害児余暇支援活動を実施します。また、障害児の交流の輪が広がるようボランティアを広く募集し、この活動を通じて障害理解が進むよう取り組みます。 (いずみ中央)実施するのであれば、ジュニアフレンド参加予定。また、障害児・者への余暇支援事業「飛行船いずみ」を継続して実施。 (下和泉)年齢期障がい児の活動や経験を増やし、地域のボランティアの障がいへの理解を促進するため、区内ケアプラザ、区社協、地域活動ホーム、各学校と協力して進めます。夏・春とコースを設定して年2回実施します。 (上飯田)毎年、夏、冬、春に障がい児余暇支援活動、ボランティア育成として、さまざまな催し物を開催します。 (新橋)ジュニアフレンド事業を行います。他余暇支援活動を立ち上げるべく活動します。 (踊場) ジュニアフレンド夏・冬・春参加予定。障がい理解の促進、ボランティア発掘育成を行います。 (いずみ野) ①近隣の作業所と共催で、ケアプラザの調理室を利用して料理教室を隔月で実施する予定です。 ②いずみ野地域ケアプラザの自主事業である「いこいのいずみ(多世代交流サロン)」において、社会福祉法人びぐれっとに通っている障がいのある方々にケーキなどを作製する機会を作り、サロンに参加している地域の方々との交流を行います。	【区社協】 夏季ジュニアフレンドのみ開催。 4回・31人参加 (いずみ中央) ジュニアフレンド夏1回28人 (下和泉) ジュニアフレンドに参加し、縁日遊びを実施し、余暇支援に取組むと共に、東俣野特別支援学校教員に参加ボランティアへ障害について講義をしていただく等、障害に理解のあるボランティアの育成に努めました。また、障害児・者への余暇支援事業「飛行船いずみ」全24回実施。延べ72名のボランティアが参加しました。 (下和泉) 夏の余暇支援事業は台風で中止となり、地域へ当事者理解を深めるため、防災訓練を通して施設との連携を行い当事者理解を行いました。 (上飯田) 夏季のジュニアフレンド企画として、BBQを行い、障がい児余暇支援と同時に障害に関わるボランティア養成を行いました。また、その中で地域の自治会にも協力を要請し、地域を巻き込むことで障がい理解啓発も行いました。 (新橋) 夏の余暇支援事業を企画しましたが、台風直撃の予報で前々日に中止となりました。支援や配慮が必要な方に、自主事業の場を活用してボランティア受入をしています。 (踊場) 地域活動ホームかがやきと連携し夏企画2日間実施(36名参加)。学生ボランティアへは、ボランティア説明を積極的に行い、ジュニアフレンド以外でのボランティア活動にも来てもらっています。また中止になりましたが、春企画の下見協力なども行いました。活動前、活動中、活動後とボランティアに求めていることを都度説明を行いました。またかわったボランティアには他の活動の紹介やお誘いを行い、他の活動にも来てもらうなど関係が続いています。 (いずみ野) 全8回(8月よりスタート)47名	【区社協】 泉地域活動ホームかがやきや地域ケアプラザ、特別支援学校等と協力し、夏季ジュニアフレンドを実施しました。夏季は台風により6コース中2コースが中止となりましたが、延べ31名の参加者が各プログラムを楽しみました。また、学生を中心に同数のボランティアがかかわり、障害理解を深めることができました。30年度は、この夏季プログラムのみ開催しました。 (いずみ中央) ジュニアフレンドに参加し、縁日遊びを実施し、余暇支援に取組むと共に、東俣野特別支援学校教員に参加ボランティアへ障害について講義をしていただく等、障害に理解のあるボランティアの育成に努めました。また、障害児・者への余暇支援事業「飛行船いずみ」全24回実施。延べ72名のボランティアが参加しました。 (下和泉) 夏の余暇支援事業は台風で中止となり、地域へ当事者理解を深めるため、防災訓練を通して施設との連携を行い当事者理解を行いました。 (上飯田) 夏季のジュニアフレンド企画として、BBQを行い、障がい児余暇支援と同時に障害に関わるボランティア養成を行いました。また、その中で地域の自治会にも協力を要請し、地域を巻き込むことで障がい理解啓発も行いました。 (新橋) 夏の余暇支援事業を企画しましたが、台風直撃の予報で前々日に中止となりました。支援や配慮が必要な方に、自主事業の場を活用してボランティア受入をしています。 (踊場) 地域活動ホームかがやきと連携し夏企画2日間実施(36名参加)。学生ボランティアへは、ボランティア説明を積極的に行い、ジュニアフレンド以外でのボランティア活動にも来てもらっています。また中止になりましたが、春企画の下見協力なども行いました。活動前、活動中、活動後とボランティアに求めていることを都度説明を行いました。またかわったボランティアには他の活動の紹介やお誘いを行い、他の活動にも来てもらうなど関係が続いています。 【いずみ野】 ①8月より、社会福祉法人びぐれっとと共催でびぐれっとに通われている利用者を対象とした料理教室を毎月第1水曜日に開催しました。活動にはケアプラザに登録しているボランティアも2～3名参加し、買出しや調理活動に協力していただいています。 ②12月にケアプラザの自主事業である「いこいのいずみ(多世代交流サロン)」のクリスマスコンサートにおいて、参加者にお出しするお菓子をびぐれっとの利用者に作製していただきました。参加者にびぐれっとの利用書の紹介を行い、交流の機会を提供しました。			

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
2	1	2	地域の中でより多くの人との交流を進める	認知症高齢者を理解し、支える認知症サポーターの養成と活動支援を行います。	区高齢・障害支援課・ケアプラザ	認知症キャラバンメイト支援	認知症キャラバンメイトの活動を支援し、認知症サポーター養成講座を行います。	<p>(高齢者支援担当) 区認知症キャラバン・メイト連絡会(年2回)開催します。また、スキルアップ研修の実施(年1回)、活動名簿の取り扱いについて整理、各地域ケアプラザエリア毎連絡会開催支援、認知症サポーター養成講座開催調整を行います。</p> <p>(いずみ中央)エリア内の地域住民・小中学校・民間企業への講座の継続実施と、新たな場所での講座実施。</p> <p>(下和泉)認知症サポーター養成講座を通じ、認知症の正しい理解と早期発見の意義を地域に発信します。エリア内連絡会を隔月で開催していきます。</p> <p>(上飯田)認知症サポーター養成講座開催に際してキャラバン・メイトの活動を支援します。エリア内のキャラバン・メイトの連絡会を実施し情報交換及びキャラバン・メイトのスキルアップを図ります。連絡会を通じて養成講座を受講したサポーターの活動の場を検討していきます。</p> <p>(新橋)キャラバンメイト連絡会を実施します。地区社協より依頼のあった認知症サポーターの活動支援を実施します。</p> <p>(踊場)キャラバンメイト連絡会を開催し、依頼のあった認知症サポーター養成講座を実施し認知症の正しい理解ができるように支援します。</p> <p>(いずみ野)エリアのキャラバンメイト連絡会を定期的に開催し、連携をとりながら認知症サポーター養成講座の実施支援を行います。</p>	<p>【高齢者支援担当】 13,292人(平成30年9月末現在) (いずみ中央) 新たな講座開催として、エリア内の障害者向け作業所を運営する社会福祉法人の職員向けにサポーター養成講座を開催しました。またオレンジリングを持った方のスキルアップのための講座を初めて開催。51名の方が参加されました。 (下和泉) 認知症サポーター養成講座6回 延べ参加人数256名 (上飯田) ・認知症サポーター養成講座開催支援 小・中学校 156名、介護事業所 24名 ・キャラバン・メイト連絡会 1回 (新橋) 認知症サポーター養成講座 計4回158名 (踊場) 中田地区社協との共催で認知症サポーター養成講座を開催。 【いずみ野】 ・認知症サポーター養成講座 8回 168名</p>	<p>【高齢者支援担当】 区域の認知症キャラバン・メイト連絡会を2回開催し、活動状況の共有を行いました。薬剤師から認知症の薬について講義していただきスキルアップも行いました。名簿の整理やサポーター養成講座の依頼方法の整理を行いました。 (いずみ中央)新たな講座開催として、エリア内の障害者向け作業所を運営する社会福祉法人の職員向けにサポーター養成講座を開催しました。またオレンジリングを持った方のスキルアップのための講座を初めて開催。51名の方が参加されました。 (下和泉)地域住民が正しく、認知症を理解し、認知症に関する情報の発信、相談の拠点になることを目的として、認知症サポーター養成講座を開催しました。①認知症サポーター養成講座とお薬相談会(30名参加)②下和泉小学校(93名参加)③元気づくりステーション(14名参加)④中和田南小(66名参加)⑤下和泉自治会(28名参加)⑥老健「ゆめが丘」(25名参加) また偶数月に年5回、下和泉地区メイト連絡会を開催しました。 (上飯田) 認知症サポーター養成講座の開催を支援しました。認知症について正しい理解することで住民による早期発見につながっています。また中学校での開催はその後の福祉実習に役だっており、小学校では福祉教育期間として高齢者体験と同時開催で、高齢者の理解につながっています。 認知症サポーター養成講座 小・中学校 156名、介護事業所(いずみ美善苑) 24名 ・エリア内の認知症キャラバン・メイト連絡会について、今年度は1回開催し、講座の事前打ち合わせ及び情報交換を行いました。 ・キャラバン・メイト連絡会 1回 (新橋) 3回、新橋エリアのキャラバンメイト連絡会を行いました。顔の見える関係作り役に役立ちました。参加人数の減少が課題だと把握できました。 (踊場) 各キャラバンメイトの都合により、連絡会の開催を調整できませんでした。 【いずみ野】 ・認知症サポーター養成講座を8回実施しました。</p>
2	1	共通課題の解決に向けた取組の推進	活動のネットワークと連携を強化する	連絡会から発展した取組	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	認知症高齢者対策・高齢者虐待防止連絡会の開催	区内の高齢者関係機関と共に、共通課題の解決方法を検討します。	<p>【高齢者支援担当】 認知症高齢者対策連絡会(1回)を開催し、顔の見える関係作り及び課題の共有と改善策について検討します。 (再掲)高齢者虐待防止連絡会(1回)</p>	<p>【高齢者支援担当】 認知症支援事業連絡会(1回) 認知症支援事業担当者連絡会(2回) (上飯田)高齢者虐待防止連絡会 1回 (新橋)実施なし (踊場) 認知症高齢者対策連絡会、高齢者虐待防止連絡会へ参加した。</p>	<p>【高齢者支援担当】 認知症高齢者支援事業連絡会を開催し、SOSネットワークや認知症初期集中支援チームについて検討を行いました。認知症高齢者を地域や専門機関で支える仕組みの普及や啓発や情報共有につながりました。 (新橋) 区で開催する認知症高齢者対策・高齢者虐待防止連絡会に参加し、エリア内の情報を共有しました。制度に関する新しい情報を得ることができ、対応するべき時のための心構えができました。</p>
			実務者会議、個別ケース検討実施回数 連絡会議での取組	区こども家庭支援課	要保護児童対策地域協議会	要保護児童等の早期発見や適切な保護・支援を図るため、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係者の情報共有、課題の解決に向けた検討を行います。	<p>【こども家庭支援課】 区域の関係者による実務者会議を年2回(6月、2月)開催し、機関相互の円滑な連携のための情報交換や協議を行います。 また、子どもや養育者に直接関わりのある関係者が集まり、支援策の検討を行う個別ケース検討会議を必要時に開催します。</p>	<p>【こども家庭支援課】 実務者会議2回 参加者：115人 個別ケース検討会議59回</p>	<p>【こども家庭支援課】 実務者会議の開催により、関係機関の連携が図られ個別支援の充実につながりました。 区域の関係者による実務者会議を2回開催し、事例をもとにした意見交換・情報交換や、「複雑な家庭環境の中で育つ子どもたちの生活と育ち」というテーマでの有識者による研修を実施し、実際の支援につながる共通理解の機会となりました。参加者：延99人 また、関係機関による個別ケース検討会議を必要時に実施し、支援方針や役割についての検討を行いました。</p>	
			公民保育園の研修参加者数	区こども家庭支援課	保育資源ネットワーク構築事業	保育資源間での保育・教育の関する実践研修や公開保育等の実施、情報交換・ノウハウの共有化の取組を実施します。	<p>【こども家庭支援課】 各施設が抱える様々な課題についての情報交換を研修会等を通じて行うことにより、課題解決に向けたノウハウの共有化、施設間交流の実施による保育士同士の交流や連携、遊びの幅の広がりが見られ、保育の質の向上につなげていきます。年長児にとっては他園の友達と遊ぶ楽しい機会になると同時に、同じ就学先の友達との出会いにもなり、就学への不安の解消、期待にもつながる取組です。</p>	<p>30年度 研修：31回 673人 交流：37回 22園</p>	<p>【こども家庭支援課】 民間保育施設の職員も対象とし、子どもとの接し方に悩む保護者へのアドバイスのため、子どもとのスキンシップの仕方を学ぶ研修会などを実施しました。 保育の質の向上を図ることにより、安全で信頼された保育を提供しました。</p>	
			連絡会議等での課題解決の取組	区社協	課題共有やその解決のため、ボランティア連絡会の有効活用 一課題共有やその解決のため、ボランティア団体連絡会や専門機関部会(法人・施設の連絡会)等との連携強化	<p>会員組織を活かして、地域の活動グループや関係機関等による連絡会議を開催し、共通する課題の解決方法を検討します。</p>	<p>【区社協】 ボランティアネットワークでは、部会間交流等で互いの活動をより知ることが出来るように、全体会を開催します。 生活支援体制整備事業における、「あらゆる主体との連携」を充実させ、生活支援の新たな社会資源を創出する目的も視野に入れながら、専門機関部会と区域協議体を開催します。</p>	<p>【区社協】 (ボランティアネットワーク 登録88団体) ・地区社協及び身近事業研修会 2回開催。1回は支えあいマップを例に地域での見守り活動について学び、2回目は被災地支援に関わった講師から日ごろからできる地域支援について話をいただき、意見交換を行いました。 (ボランティアネットワーク) ・一般部会、障がい者支援部会、高齢者支援部会、子育て支援部会の実施。ボランティア同士の協力や意見交換を行いました。 ・ボランティアフォーラムを実施しました。日ごろの活動の成果を発表したり、体験コーナーの開催をしました。移転をしたので、来場者数が昨年度を下回ると予想したものの、変わらず来場者は200名を超えました。</p>		
子どもの育ちや親の不安を支えていくための子育て課題を多様な視点から解決するため、子育て支援ネットワークによる関係機関との連携を進めていきます。	区域・ケアプラザエリアの実施回数 ネットワーク連絡会議の取組	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業	<p>泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を支えていくために必要な子育て課題に対し、関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、地域別5エリア、区域での子育て支援ネットワーク連絡会を開催します。</p>	<p>【こども家庭支援課】 区域のネットワーク連絡会では、関係機関・団体の代表者レベルで、子育て支援状況についての情報共有や課題確認を行います。 また、区内5エリアごとの連絡会では、地域で活動を行う支援者の顔の見える関係づくりとともに、子育て支援に係る課題共有と、解決に向けた取組を進めます。</p>	<p>【こども家庭支援課】 区域2回 エリア別55回(1月末時点)</p>	<p>【こども家庭支援課】 泉区子育て支援ネットワーク連絡会 エリア別子育て支援ネットワーク連絡会【再掲(2-1-2)】</p>			

推進の 2	重点 項目 2	取組 名 1	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
人と人、活動と活動のつながりがあるまち	活動のネットワークと連携を強化する	共通課題の解決に向けた取組の推進	地域の様々な団体や民間企業等と協働し、当事者の社会参加・自己実現を進めている泉区障害福祉自立支援協議会を支援します。	連絡会から発展した取組	区高齢・障害支援課	泉区障害福祉自立支援協議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業所等の連携強化を目的としたネットワークを行います。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会の総会のほか、障害のある当事者の情報交換・余暇活動の支援や事業者等のスキルアップなど、テーマごとに部会等を開催し、参加事業所等による意見交換や協力体制の構築を支援します。	【障害者支援担当】 ・総会 1回 ・7部会2プロジェクト 延べ95回 日中活動部会と区社協、区役所と共催で、福祉の作品展に合わせて、自主製品の販売と障害理解啓発の取り組みを実施した。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会の総会のほか、障害のある当事者の情報交換・余暇活動の支援や事業者等のスキルアップなど、テーマごとに部会等を開催し、参加事業所等による意見交換や協力体制の構築を支援します。
			高齢者の自立を支援し、地域で高齢者を支えるネットワークを強化するため、地域ケア会議を開催して個別ケースの課題分析等を積み上げ、地域の課題を把握することで、課題解決のために必要な社会資源の開発・地域づくり・市の政策への反映等につなげていきます。	ケア会議の開催数 ケア会議からの課題整理、取組事例	区高齢・障害支援課	地域ケア会議	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制がある地域づくりを行います。会議は区域・包括支援センターエリアで実施します。	【高齢者支援担当】 個別レベル、包括レベル、区レベルの3層構造で実施し、地域課題の発見及び解決方法の検討を実施します。より広域な課題については、市レベルの会議での検討につなげます。	【高齢者支援担当】 30年度実績 区レベル2回 いずみ中央CP:個別レベル3回、包括レベル1回 下和泉CP:個別レベル2回・包括レベル3回 上飯田CP:個別レベル2回、包括レベル2回 踊場CP:個別レベル3回、包括レベル2回 新橋CP:個別レベル1回、包括レベル1回 いずみ野CP:個別レベル3回、包括レベル2回	【高齢者支援担当】30年度実績 区レベル2回 いずみ中央CP:個別レベル3回、包括レベル1回 下和泉CP:個別レベル2回・包括レベル3回 上飯田CP:個別レベル2回、包括レベル2回 踊場CP:個別レベル3回、包括レベル2回 新橋CP:個別レベル1回、包括レベル1回 いずみ野CP:個別レベル3回、包括レベル2回
地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	新たな担い手の育成	講座の企画・実施	区社協	これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア団体、地区社協と連携して自分の技術や経験を活かせる場の開拓 →これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア活動やボランティア団体の紹介	趣味や特技を活かしたボランティア活動ができるよう、世代の特性にあわせた講座を開催します。	【区社協】 ボランティアや「いずみオト・ナCollege」や他クアブラザとの共催講座で新しい地域活動の担い手を発掘していきます。 企業を開拓し、退職者向けの講座を提案します。 障害理解講座で地域課題と一緒に考える人材を発掘します。	【区社協】 ・横浜シニア大学 ・視覚障がい理解講座(全3回) ・高齢者の介助入門講座 ・施設職員向けボラ担講座 (区民ホール 出張ボランティアセンター) ・3日間	【区社協】 ・踊場地域クアブラザと共催で障がい理解講座を実施しました。障がい当事者が講師になったことをきっかけに当事者グループの立ち上げにつながったり、参加者が体験を通して当事者を理解し、地域で見守るきっかけになりました。 ・企業の開拓への一歩として、戸塚法人会支部へ講座チラシ等の協力をしていただきました。	
			講座からつながった担い手の活動	区福祉保健課	担い手発掘に向けた取組	対象者の関心のあるテーマを設定し、より担い手の活動につながる講座内容を企画・実施します。	【事業企画担当】 地域活動を始めるきっかけになるよう、担い手発掘のための啓発リーフレット(お品書き)の配布します。また、各地域クアブラザで開催するボランティア講座については、チラシ作成と啓発グッズの配付を行い、地域活動に関心を持ってもらえるよう、広く区民に周知します。	・平成30年度ボランティア養成講座リーフレット配布数 3000枚	【事業企画担当】 担い手発掘のための啓発リーフレットを区内地域クアブラザ地域活動交流コーディネーターと作成しました。地区社協・区内駅・図書館・地区センター等に3000部配布し、ボランティア養成講座の開催や地域で活動しているボランティア団体の取組について周知することができました。ボランティア養成講座に参加した方に、啓発グッズを配布し次の地域活動につながるよう工夫しました。各地域クアブラザで開催したボランティア講座から、地域活動のボランティアになった人がおり、担い手の発掘につながりました。	
			講座の企画・実施	地域クアブラザ	ボランティア講座の企画・実施	ボランティア講座を行い、地域で活動する担い手を養成します	(いずみ中央)シニアボランティア登録研修会実施。昨年度より男子たちの活動グループducksが結成され、男性の介護及び認知症予防や地域に出るきっかけ作りを目的とした講座を実施予定。その活動をサポートします。 (上飯田)地域交流COと生活支援COと連携して、担い手の発掘・育成を目的とした事業を展開します。 (新橋)地域ビジネス講座より発生した活動について引き続き後方支援します。 (踊場) 男性の力を地域で発揮できるようそば講座を開催します。 (いずみ野) 下半期に(50～60代)をターゲットに男性限定の連続講座を予定しています。講座終了後は参加者による団体化を予定しています。 (下和泉)趣味活動から取り組めるような講座等を実施し、若い人が地域参加できるよう1～2回講座を実施します。5職種が協働し男性の地域デビュー講座を実施します。	(いずみ中央) シニアポイント登録研修会。1回14名 (いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめの歩」⇒中止(参加人数が集まらず) (上飯田) 男性の為の料理教室 全6回 36名 麻雀大会(ボランティア養成講座)全2回 (新橋) 実施なし (踊場) 男性担い手発掘事業「俺のそば打ち」開催7月～1月 (いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめの歩」⇒中止(参加人数が集まらず) (下和泉) 1回 20人	【いずみ中央】 シニアボランティア登録研修会を開催しました。この取組みがきっかけとなり、新たなボランティア活動をスタートした方もいらっしゃいました。昨年度より男子たちの活動グループducksが結成され、男性の介護及び認知症予防や地域に出るきっかけ作りを目的とした講座を実施しました。新たに珈琲ボランティアの活動を12月よりスタートし、4ヶ月で4件の依頼を受け実施しております。またducksの主催する講座がきっかけとなり施設でのボランティア(シーツ交換)を行なう方もいらっしゃいました。 (上飯田) 生活支援bCOと共催で麻雀大会を行い、運営事務局という形でボランティアを要請しました。今年度2回開催 事務局メンバー7名 (新橋) 地域ビジネス講座から発生した移送ボランティの活動は、スーパー銭湯へのおでかけツアーとして5月に実施しました。ボランティア 4名・参加者 3名。第2回目は買い物ツアーを企画しましたが参加者なしで継続実施とはなりません。 「買い物支援」のニーズはあるとみていましたが必要な方に情報が届かなかったことや東戸塚にあるショッピングセンターへの買い物ツアーの企画だったが、買い物にいっ場所や、時間帯など、ニーズとは合っていないかたのではないかと考えています。 (下和泉) 「俺のそば打ち」ではそばの会以外での付き合いも始まっており、雰囲気の良い活動となっています。 【いずみ野】 男性の担い手を育成する目的で、メンズ体操教室を開催しました。 (下和泉) 男性向け講座を行い男性デビューの場を提供しました。	

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	新たな担い手の育成	趣味を楽しむことや、仕事で得たスキルを活かした活動が始められるような講座を開催し、地域で仲間と一緒に楽しむ機会を設けます。	ボランティアマッチングの仕組み 地区社協と連携した取組 →地区社協やケアプラザと連携した取組	区社協	これから地域に戻る世代を対象としたボランティア団体、ボランティアの紹介や、地区社協と連携して自分の特技や経験を活かせる機会の提供 →ボランティア活動ニーズのスムーズなマッチング ケアプラザエリアを単位としたボランティア講座の開催	ボランティアセンター窓口でも、趣味や特技を活かせるようなボランティアの紹介がスムーズにできるような仕組みを作ります。 趣味や特技につながる講座の開催や、地域のサロン等で披露する機会など、生活支援コーディネーターや地区社協等と連携して活動の場を提供します。	【区社協】 ボランティアセンター登録者の更新作業を進め、登録者や活動内容等を整理し、活動内容等を一覧表で確認できるようにして、マッチングがスムーズにできるようにします。 引き続き、「いずみオトナCollege」等の講座を企画します。 団体の活動発表の場を提供し、活動を広く知らせていきます。	【区社協】 いずみオトナcollegeの振り返り ・ボランティア更新アンケートで現在活動していない会員の整理 ・地区社協のてびき研修の実施	【区社協】 ・ボランティアセンターの個人、団体の更新アンケートを実施しました。結果をもとに登録者の活動状況や希望等の一覧表を作成しました。 ・いずみオトナカレッジはこれまでの取り組みについて、振り返りを行いました。今後は、オトナカレッジのくくりではなく、地域で個別に支援活動をする方に対応することになりました。 ・出張ボランティアセンターやボランティアフォーラムで登録団体等の発表の場をつくりました。
			障害者の理解と活動のサポートをする担い手の育成として、ボランティア講座を実施します。	ボランティア講座参加者数	区社協 地区ケアプラザ	ボランティア講座の企画・実施	【区社協】 生活支援体制整備事業、ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で把握した課題の解決を目指したボランティア講座を開催します。	【区社協】 知的障害理解講座を実施します。また、自立支援協議会と連携して、障害理解講座を実施します。 障害児者の通学や通所支援のニーズが多いエリアを対象に、障害者ガイドボランティア講座を実施し、ガイドボランティアの確保に努めます。 泉サポートプロジェクトに参加している施設や地区ケアプラザと連携して、地域ケアプラザエリアで必要とされるボランティアニーズに対応するための講座を実施します。 中田地区で始まったセーフティネット横浜出前講座の取組を他地区へ広げ、災害時における障害理解を進めます。 (下和泉)地域で把握した課題に基づき障害理解講座を開催します。担い手発掘講座を実施します。 (上飯田)地域にあるボランティアグループのアンケートを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコーディネートします。 (いずみ野)下半期に泉区社会福祉協議会と共催で「ボランティアへ！はじめての一步」という名称でボランティア講座の実施を予定しております。	【区社協】 セーフティプロジェクト横浜出前講座5回 【ボランティアセンター】 ・視覚障がいの理解…3回(述べ27人) ・高齢者の理解…1回(7人) 【移動情報センター】 ・ガイドボランティア講座～知的障がい理解編～…1回(12名) ・ガイドボランティア交流会…1回(8名) ・障害のある人のボランティア養成講座…1回(19名) (下和泉) 1回 防災拠点での障害者理解 30人 (上飯田) ジュニアフレンド夏季事業 ボランティア8名(いずみ野) ボランティア講座「ボランティアはじめての一步」⇒中止(3/9参加人数が集まらず) (いずみ中央) ・シニアボランティアポイント登録研修会1回 14名 ・ジュニアフレンド 1回 19名(参加ボランティアへ障害についての講義) (新橋) 団体交流会に区社協の山口さんに参加していただき、障害児者に対するボランティアの現状と移動支援の担い手を募集している旨参加者に話す時間をとった。 (踊場) ・視覚障がいの理解3回37人 ・障がいボランティア講座1回23人	【区社協】 セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座5回開催しました。参加者の多くは、障がいのある方やその家族からの話を聞きたいと望んでいることから、その場面を設定した研修会を開催しました。 (下和泉) 防災訓練を通して施設、区社協と連携しながら当事者理解を行いました。 (上飯田) 障がい向けのボランティア講座自体は行っていませんが、ジュニアフレンド事業の中でひなた山支援学校と共催で、参加されたボランティアに対して事前の障がい講座を行いました。 【いずみ野】 ①3月に区社協とボランティア講座を開催予定でしたが、参加人数が集まらず中止となりました。 しかし、当日に事前申込みせず講座に参加された地域の方がおり、個別に相談に応じ他結果ケアプラザのボランティア活動を見学され、最終的にボランティア登録につながりました。 ②ボランティアの発掘として、地域包括の看護師と連携しケアプラザの自主事業であるメンズ体操教室に参加されている方に測定ボランティアとして、他の運動系の自主事業において測定のボランティアとして活動していただきました。 (いずみ中央) ・シニアボランティアポイント登録研修会 1回 14名 ・ジュニアフレンド 1回 19名(参加ボランティアへ障害についての講義) (新橋) 団体交流会に区社協に参加していただき、障害児者に対するボランティアの現状と移動支援の担い手を募集している旨参加者に話す時間をとりました。 (踊場) 視覚障がい理解講座、障がいボランティア講座などを通し、ボランティア活動の周知も行いました。
			社会福祉施設や事業所の利用者が、地域活動に参加したり関わったりすることができるように取り組みます。	連絡会から発展した取組	区高齢・障害支援課	泉区障害福祉自立支援協議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業所等の連携強化を目的としたネットワークを行います。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会において、障害理解啓発について取組を行うことを支援します。	福祉の作品展における自主製品の販売、障害理解啓発の取り組み	福祉の作品展に合わせて、自主製品の販売及び発達障害に関するDVDの放映、パンフレットの掲示など障害者理解啓発に向けて取り組みました。

推進の 柱の 3	重点 項目 1	取組 名 2	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	担い手と地域活動のコーディネート		ボランティア紹介結果数 スムーズな活動につながった事例	区社協	ボランティアセンターの運営	ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。	【区社協】 依頼者、活動者どちらの相談も丁寧に受付をして、担当職員間で共有を図り関わっていきます。 ボランティア活動者のフォローアップを行います。	【区社協】 ・95件(2月中旬) ・情報提供(18件)	【区社協】 ・依頼者、活動者の相談について、丁寧に対応し、運営がしやすくなるよう助成金についても案内をおこないました。
			地域デビュー講座や担い手育成の講座を修了した人が、地域で活動している団体や活動グループに参加できるようコーディネートします。	コーディネートの取組	地域ケアプラザ	ボランティア活動団体、ボランティアネットワーク等と連携したボランティアコーディネート	ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。	(いづみ中央)CPでボランティアをして下さっている方々のスキルアップ、およびボランティア同士の交流を目的として「ボランティア感謝と交流の集い」を実施予定です。 (下和泉)ボランティアの方が安心して活動を継続できるようコーディネートします。また地域活動情報を職員で共有し、活動団体が地域で活躍できるよう、きめ細やかな対応をしていきます。 (上飯田)地域にあるボランティアグループのアンケートを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコーディネートします。 (新橋)事業を通じて、地域デビューしていく人材を意識的にフォローしていきます。 (踊場)ボランティア希望の方が、希望の活動に参加しやすいように今後も活動の様子を動画で紹介していく。 (いづみ野)下半期に男性限定の連続講座を予定しています。講座終了後は参加者を団体化し、地域の活動やケアプラザの事業で活躍できるようにコーディネートを行う予定です。	(いづみ中央) シニアポイント登録研修会 1回14名 この取組みがきっかけとなり、新たなボランティア活動をスタートした方もいらっしゃいました。また、ボランティア希望の方の情報をCP内で共有し、新しい方がスムーズに活動できるよう努めました。昨年度より男子の活動グループducksが結成され、男性の介護及び認知症予防や地域に出るきっかけ作りを目的とした講座を実施しました。新たに珈琲ボランティアの活動を12月よりスタートし、4ヶ月で4件の依頼を受け実施しております。またducksの主催する講座がきっかけとなり施設でのボランティア(シーツ交換)を行なう方もいらっしゃいました。 (下和泉) シニアボランティアポイント登録研修会を実施し、松風学園の方に障害の分野の活動をご紹介いただきました。この取組みがきっかけとなり、新たなボランティア活動をスタートした方もいらっしゃいました。また、ボランティア希望の方の情報をCP内で共有し、新しい方がスムーズに活動できるよう努めました。昨年度より男子の活動グループducksが結成され、男性の介護及び認知症予防や地域に出るきっかけ作りを目的とした講座を実施しました。新たに珈琲ボランティアの活動を12月よりスタートし、4ヶ月で4件の依頼を受け実施しております。またducksの主催する講座がきっかけとなり施設でのボランティア(シーツ交換)を行なう方もいらっしゃいました。 (上飯田) 生活支援コーディネーターと共催で健康麻雀大会を行い、運営事務局という形でボランティアを要請しました。今年度2回開催 事務局メンバー7名。 ボランティア感謝会を実施し、9団体、37名のボランティアの方々に日頃からの感謝の気持ちを伝え、またお互いの活動の紹介を行い、横のつながり作りを努めました。 (新橋) どこでどのようなボランティアを募集しているのかを、交流会や紙媒体で発信しました。 (踊場) 障がいボランティア講座や個別での声掛け、ボランティアセンターとの連携により、新しくボランティアを始められる方にもスムーズに活動に繋がりました。 【いづみ野】 男性同士のつながり作りや、地域の担い手を育成する目的で、メンズ体操教室を開催しました(月1回・全12回)その中から、2~3名の参加者がケアプラザの自主事業である体力測定ボランティアとして活動しています。	
		地域で行われている活動をまとめ、活動の参考となるよう、情報を整理し、提供します。	情報提供方法の工夫	区社協	地域で行われている活動に情報提供	新たな担い手を増やしたり、現在活動している人の参考になるように、地区社協やボランティアグループ等地域で行われている活動をまとめた紹介冊子等で、地域情報を提供します。	【区社協】 広報紙を継続し、ボランティア活動紹介を通して、地域活動に関心を持つ対象者を増やします。 人材バンクの情報更新を行います。	【区社協】 ・かわら版の発行年2回 ・きらぼろ発行年3回 ・区社協広報紙年3回 ・タウンニュース誌年1回 ・移動情報センター通信1回	【区社協】 ・区社協広報紙「区社協だより泉」を年3回発行するのに加え、新たにタウンニュース誌を発行しました。区社協の事業や賛助会員、共同募金の取組などについて周知しました。ボランティアセンターや移動情報センターなど各事業で広報紙を発行しました。区役所や地域ケアプラザなどに配架しました。	

推進の 柱	重点 項目	取組 名	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	活動が継続するための支援	地域の活動グループへの相談・助言をはじめとする運営面での支援を行います。	相談・助言件数	区社協	ボランティアセンターの運営	ボランティアセンターで相談・助言をするなどにも、ボランティアネットワークの運営に協力し、団体の課題を共有し、解決に向けた取組みを行います。	【区社協】 地区ボランティアセンターの皆さんを中心に、地域や活動上の課題を聞き取ります。聞き取りした課題は、連絡会や講座などを実施して改善に向け支援します。また、支援者が把握した利用者の生活課題は、地域ケアプラザなどへつなげやすい仕組みづくりを支援します。	【区社協】 191件(2月中旬)	【区社協】 一部の地区ボランティアセンターの活動上の課題については聞き取りをし、地域ケアプラザと共有をしました。
				内容、回数、参加団体数・人数	区社協	ボランティアグループ等の運営のための研修会等の開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に向けた取組が進むよう、研修会等を通じて支援します。	【区社協】 地区ボランティアセンターの皆さんを中心に、課題を確認し、その解決に向けた研修を開催します。	【区社協】 聞き取り調査…1回	【区社協】 一部の地区ボランティアセンターと次年度の講座開催に向けて話し合いを行いました。メンバーが減少傾向なので、スキルアップの両方について検討しています。
			主体的なグループ活動の取組 委嘱委員の活動支援のための取組	区福祉保健課	地域で活動する健康づくり団体への支援 民生委員・児童委員の活動支援	保健活動推進委員の研修・活動への取組を支援します。 食生活等改善推進員の養成を行います。 民生委員・児童委員の活動支援を行います。	【健康づくり】 ・保健活動推進員の全体研修会(4回) ・保健活動推進員地区会長(月1回) ・食改セミナー(8回)、食生活等改善推進員の地域活動支援 ・地域で取組む健康づくり活動ボランティアへの支援 【運営企画係】【地域力推進担当】 ・平成29年度に作成した委嘱委員ホームページの(民生委員・児童委員の)掲載内容の更新します。	【健康づくり】 ・保健活動推進員研修会(4回) ・保健活動推進員地区会長(11回) 食改セミナー(8回) 保健活動推進員地区会長(11回) 食改セミナー(8回) 【運営企画係】 ・令和元年度の民生委員児童委員、主任児童委員一斉改選に向け、委員の推薦母体である連合自治会町内会長及び民生委員児童委員一斉改選に向け、委員の推薦母体である連合自治会町内会長及び民生委員児童委員の紹介リーフレットを作成し配布をしました(2,000部)。 また、講演会「地域の中の民生委員児童委員活動について」(講師:ルーテル学院大学教授・学長 市川一宏氏)と推薦事務説明会を開催し(平成31年2月23日)、地域での円滑な推薦事務の支援を行いました。		
			地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施など、活動を継続するための支援を行います。	研修・連絡会の参加者数	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業 子育てサロン支援事業 親子サークル支援事業	【子育てネットワーク支援事業】 エリア内子育て支援の支援、区域全体での課題共有化と解決策の検討を行う連絡会を実施します。 【子育てサロン支援事業】 概ね月1回程度の子育てサロンを地域で開催するなど、子育て支援活動を行っている地域ボランティアリーダーを対象とした運営や活動についての研修の開催・活動を支援します。 【親子サークル支援事業】 活動中の親子サークルの代表者を対象とした「親子サークルリーダー研修会」の開催、サークル同士の交流や情報交換、情報提供を行います。	【こども家庭支援課】 子育てネットワーク支援事業:5エリア別の実施しているネットワーク連絡会(月1回)の後方支援を行います。区域全体で子育て支援情報を共有や課題確認、解決に向けた取組を検討する連絡会を(年2回予定)開催します。 子育てサロン支援事業:区内住民主体の「子育てサロン」の担い手である、地域のボランティアリーダーの支援育成として、連絡会(1回)と研修会(1回)を実施します。 親子サークル支援事業:親子サークルリーダー研修会を年3回開催します。	【こども家庭支援課】 子育てサロン連絡会1回 参加者16人 子育てサロン研修会1回 参加者:30人 親子サークルリーダー研修会3回 参加者:104人	【こども家庭支援課】 子育てサロン支援として連絡会と研修会は、地域の支援者や当事者が活動の情報交換とスキルアップの機会となり活動の活性化と継続が図られました。研修会には、赤ちゃん教室の保育協力者も参加することで、赤ちゃん教室からサロンへと親子の支援をつなげる事が確認されました。 親子サークルリーダー研修会を年3回開催しました。母親主体の親子サークルは、運営の負担感はあるものの母親同士の繋がりが主体的な活動は、親子ともに良い経験であり、そのためのリーダー支援は今後も必要です。 今後のサロン連絡会やサークルリーダー研修会は、地域子育て支援拠点が「地域の子育て支援活動者、子育て当事者の支援」の一環として支援機能の主体を移しながら、区の子育て支援者事業との連携や企画・運営について側面的支援を行っていきます。
			地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施します。	研修会参加者数	区社協	ボランティアグループ等の運営のための研修会等の開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に向けた取組が進むよう、研修会等を通じて支援します。	【区社協】 助成金受付等で団体の課題を把握し、その解決に向けた研修を企画していきます。	【区社協】 身近な地域の支えあい研修…2回 ・ボランティア・市民活動部会 …地区社協の手引きの要点研修	【区社協】 助成金団体の団体共通シートから、課題を抽出し職員間で共有を行いました。特に健康増進区分の団体へは運営状況や計画の相談のために地区担当より連絡を入れて対応しました。
現在活動している人が地域の中心となり、より一層活躍できるよう、様々な地域の課題を協力し合いながら解決する力を身に付けるための講座を開催します。	講座の開催	泉区まちづくりみらい塾/市民セクターよこはま/区政推進課(地域力推進担当)	泉区まちづくりみらい塾	対象:既に地域活動をしている人やこれから始めたい人など 内容:活動現場の訪問など、実際の活動に触れることで、それぞれの人、地域に合った、より良い地域づくりのための方法を見つけます。 自分の住んでいる地域で取り組んでみたいことを「マイプラン」として作成することで、実際の活動につなげるきっかけとするなどの、実践的なプログラムを実施します。	【地域力推進担当】 地域活動の現場訪問や活動者との意見交換、地域づくりのための講義、泉区を知るまち歩き、私のまちの「マイプラン」の作成などの連続講座を実施します。講座を通じて、地域課題の解決を図り、活動を継続させていくためのノウハウを身につけます。 卒業生のアフターフォローとして、自分史を作成する新規講座を検討しています。 区職員の参加も呼びかけ、まち歩きなどを通じて区職員が泉区の魅力を知る機会を創出し、地域ケアシステムの構築や「定住・転入促進プロジェクト」の推進等泉区一体となった取組につなげていきます。 地域活動への参加がすすむ泉区を目指すためには、地域活動の担い手の育成は欠かせません。初任者～ベテラン層まで自分なりのノウハウを身につけるためのサポートをしていきます。	計6回実施 【第1講】8月25日 開講式・講義・交流 【第2講】9月27日 まち歩き初めの一歩(3ルート) 【第3講】10月25日 個人ワーク・グループワーク 【第4講】11月3日、7日、8日、9日 現地見学会 【第5講】12月1日 チャレンジプランの作成 【第6講】12月22日 卒業式、発表 申込者:19人 まち歩き(第2講)で地域の様子や課題を知り、現地見学会(第4講)では実際に活動している現場を見学、活動者の話を聞くことにより、課題解決の具体的な方法を知り、ノウハウを得ることができました。これらの学んだことを参考に、自分の地域の課題を解決するためのまちづくり計画「チャレンジプラン」を作成し、第6講の卒業式で発表し共有しました。まずは小さなことから地域活動に参加し、無理のない範囲で社会貢献しながら、心身ともに一生健康でありたいという気持ちを持った受講生が多く、本講座が地域活動に参加するきっかけづくりになったと思われれます。 まち歩き(第2講)では、泉区民にもよく知られていない泉区の魅力を再確認できた貴重な機会でした。「泉区の魅力を肌で感じることは泉区に住み続けてみたい」と感じる良いきっかけになったと思われれます。				

推進の 3	重点 項目 1	取組 名 3	行動計画	振返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果
地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	活動が継続するための支援	地域活動に関心を持っていただくために、区内の地域活動を区内外の市民にホームページや事例集を通じ、効果的に発信します。	地域活動の事例紹介	区政推進課 (地域力推進担当)	事例集「泉区の地域力 継承 KEI-SHO 一心合わせて」 ホームページ「泉区 地域の事例集」	対象：既に地域活動をしている人、地域活動に関心があり、身近で行われている地域活動を知りたい人など 内容：区内で活動されている取組を紹介し、地域活動への参加のきっかけづくりを行います。多くの人が地域活動に参加することで、生きがいを持ち、年齢を問わず、心身ともに健康な生活を過ごすことのできる社会を目指します。	【地域力推進担当】 平成30年度は、平成29年度に引き続き6地区の事例紹介を予定しています。(予定：中川地区、緑園地区、新橋地区、和泉北部地区、いちよう団地地区、下和泉地区) 平成29年度事例集については、地域活動デビューを計画している層に大いに参考にさせていただきました。かつ、現に活動されている担い手の方々の励みにもなっていると伺っています。 地域の中でより多くの人との交流を進めるためには、地域活動に関心を持つ人を増やすことが大切です。そのきっかけづくり、かつ情報発信ツールとして今年度も地域活動の事例紹介を実施していきます。	・個別取材6地区(中川地区、緑園地区、新橋地区、和泉北部地区、いちよう団地地区、下和泉地区)の実施(7月～) ・冊子作成(継承No2)に向けた構成等の検討 ・事例集(継承No2)の発行(3月末)	【地域力推進担当】 ・6地区地域活動取材を実施しました。(中川地区、緑園地区、新橋地区、和泉北部地区、いちよう団地地区、下和泉地区)平成29年度も6地区取材しており、2年間で泉区内全12地区取材を完了しました。 ・平成31年3月末に事例集「泉区の地域力 継承 KEI-SHO 一心合わせて」NO2を発行し、4月の区連会にて連合町内会長に配布します。その後、泉区庁舎内、地域ケアプラザ等への配布を通じ、各地区の身近な地域活動の取組を広めていきます。 ・他区(西区、栄区)の地域活動のイベントに本事例集NO1が活用されるなど、泉区以外の地域活動の取組への支援にもつながっています。 これからも多世代が住み続けたいなるまちづくりを目指し、様々な事業を通じ、地域活動に関心を持つ人を増やしていくための取組を推進していきます。
			各種講座の終了後に自主活動のグループ化につながるよう、活動グループの立ち上げや、運営方法等の支援を行います。	グループ数、参加者数	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション	高齢者が歩いて行ける身近な場所で、健康で生きがいのある行動を目指します。	【高齢者支援担当】 高齢者が、地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指して、元気づくりステーションを立ち上げます。平成30年4月から3か所の元気づくりステーションが活動開始の予定です。平成29年度までに9か所の元気づくりステーションの活動が始まっており、平30年度も継続して活動します。住民が主体的に運営し、介護予防の地域の資源となるよう支援します。 (いずみ中央)元気づくりステーション「よくばりクラブ」の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行います。 (下和泉)元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」の会場を貸出し、運営に関する助言・協力をしていきます。H27年度育成された「ふまねっとサポーター」とH29年度も連続講座を実施したり、サロン等ふまねっと体験教室を開催していきます。H28年度に終了した「うた声サポーター」の活動支援とサポーターとともにケアプラザで「うた声喫茶」を開催したり、サロンに出張して歌を通して介護予防広めます。H28年度に立ち上がったノルテックウォーキングのグループメンバーを増やしていきます。 (上飯田)新たな元気づくりステーション「スマイル」「麦の会(ふまねっと)」の活動が円滑にできるよう支援します。「健好クラブ」の活動を継続して支援します。(新橋)ウォーキングや介護予防の新規講座開催後、アンケートに記入していただくことで自主活動への参加意向を確認し、その後は自主活動へ繋がるよう支援していきます。 (いずみ野)すでに発足している元気づくりステーションの活動が円滑に継続できるように後方支援をしていきます。新たな元気づくりステーションの立ち上げができるような講座を開催し、地域の介護予防に努めて生きます。	【高齢者支援担当】・継続9カ所 4,154人参加 ・H30年度新規 3カ所 元気づくりステーション「しもずく歌声サポーターズ」「スマイル」「麦の会」 【継続】 (いずみ中央) ・よくばりクラブ 31回・延333人(下和泉) ・しもずく健康づくり講座10回 延べ参加人数179名 (上飯田) 健好クラブ 48回 628人 スマイル 24回 172人 麦の会 24回 570人 (いずみ野) ・おはなしほけっと 27回・延243人(新橋) 【継続】元気づくりステーション「健康畑ひまわり」活動支援5回・104人「ふまねっとサークル」活動支援3回・60人	【高齢者支援担当】 11か所の元気づくりステーションについては、企画や運営の助言等必要な支援を継続しています。区・包括で実施している介護予防教室をきっかけとして、元気づくりステーション「しもずく歌声サポーターズ」が下和泉エリアに立ち上がり、歌声喫茶ボランティアとして育成しました。歌を通して様々な場面でつながることができ、活動をしながら、自身の介護予防にもなると楽しんでいます。平成31年4月～自主活動を開始しました。 【いずみ中央】 元気づくりステーション「よくばりクラブ」の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行いました。 (下和泉) 元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」・「うた声サポーター」の活動場所となる会場を提供し、各団体の運営および活動支援に関する助言・協力を行いました。「歌ごえサポーター」の活動については、サポーターとともにケアプラザで「うた声喫茶」を開催し、サロンに出張することで、歌を通じた介護予防の普及活動を行いました。また高齢者が歩いていける身近な場所で健康づくりのための活動に取り組んでもらうことを目的として、下和泉健康づくり教室(7回)、しもずく健康づくり講座((10回)を開催しました。 (上飯田) 健好クラブ、スマイル、麦の会が円滑に活動できるよう支援しました。 【いずみ野】 平成29年度に立ち上がった「おはなしほけっと」が月に2回活動を行いました。活動時にはハトトレや発声練習を行い、体力づくりをしています。和泉保育園で年長組(ぶどう組)の子供達に絵本の読み聞かせを11回、ケアプラザまつりで大型絵本の読み聞かせを1回、グループホームやまももで絵本の読み聞かせを1回活動を行いました。活動がスムーズに行えるように支援を行いました。 (新橋) 健康畑ひまわり、ふまねっとサークルの活動を支援しました。参加者数が20名程度、長期欠席もなく安定して行なわれています。

推進の 3	重点 項目 2	取組 名 1	行動計画	振り返りの視点	実施主体	事業名・取組名	事業概要	30年度 実施計画	実施回数・参加者数等 H30年度末現在	30年度 取組結果	
地域活動への参加がすすむまち	地域の活動に関心を持つ人を増やす	1	地域の状況や行われている活動が的確に伝わるよう、対象や内容を明確にしなが、様々な媒体を活用した情報発信を行います。	地域活動の情報発信への取組	区福祉保健課	地区別計画の取組紹介(広報よこはま泉区版)	広報よこはま泉区版の地域福祉保健計画の連載をはじめとした、地域の取組を発信します。	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」で、地域の地域福祉保健計画の取組を連載し、情報を発信します。	【事業企画担当】 元気の出るまち泉連載 年5回(予定通り)	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」コーナーに、年6回(全8、9、12、1、2月)計画通り、住民の方々の協力を得てコラムを作成していただき、情報発信することができました。	
				すきっぷ通信、メルマガの発信	区子ども家庭支援課 地域子育て支援拠点すきっぷ	地域子育て支援拠点事業	子育て支援に関する情報を拠点「すきっぷ」を通じて区民に情報発信を行います。	【こども家庭支援課】 子育て支援に関わる取組についての情報を、拠点「すきっぷ」と共有しながら、メルマガやすきっぷ通信、WEBやSNSといった様々な媒体を通じて情報提供することにより、養育者の支援を実施します。	平成30年度 すきっぷ通信 12回 メルマガ配信 93回	【こども家庭支援課】 市外からの転入者に向け泉区子育て支援マップの区役所窓口での配付を行いました。また、すきっぷ通信を区役所窓口で配架するとともに地域赤ちゃん教室で配付し、子育て情報を提供することにより養育者への支援を行いました。	
	地域を知るきっかけづくり	地域の活動を知り、参加するきっかけを作るため、地域の活動を周知するためのイベントを企画・開催します。	2	地域活動をきっかけとした取組	イベントをきっかけとした取組	区福祉保健課	地域福祉保健計画推進イベントの開催	地域の福祉保健活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画の周知および地域活動についての紹介を区民ホールにて行い、地域活動の参加につながるきっかけづくりになるよう活動発表会も開催します。	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント(2/26日～28日・延べ350人) ・活動発表会(3/7・57人)	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画推進イベントでは、テーマ「つながろう！みんなのまちでできること」として区民ホールで3日間(2月26日～28日)開催しました。前年度より多い350名の方々が来場。パネル展示や地域活動団体の手作りコーナー、ボランティアセンターなどで活動を紹介。アンケートでは、「初めて参加したが関心を持った」「これからは、地域活動に参加したい。」という声や次年度も開催を希望する声もあり、地域活動を知るきっかけとなったイベントを行うことができました。活動発表会では、「いつもの毎日に彩りを「いいネ」でつなげる人と人」をテーマに、活動団体による発表と講師による講演会を開催しました。区民、関係機関等57人の参加がありました。参加者から、「活動で工夫していることが参考になった」「人とつながることは健康に大切」「家に閉じこもらないで社会参加しやすい環境づくりを考えたい」「若い世代の巻き込み方が参考になった」という意見があり、「地域活動への参加意欲の向上」や「活動を発展させるための手法を知る」ことにつながりました。
					イベントをきっかけとした取組	区福祉保健課	健康づくりイベント	地域の健康づくりに関わる活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【健康づくり】 ・「みんなの健康アップ！フェスティバル」(6/7) ・区民ふれあいまつり(11/3) ・地福イベント(2月実施)	【健康づくり係】 生活習慣病予防・がん検診・口腔ケア・禁煙・栄養・食育などについて、保健活動推進員及びヘルスメイトと連携して、区民の健康づくりに幅広く啓発や健康づくりの意識向上につなげることができました。	
					団体活動を知るきっかけづくりの取組	区社協	ボランティアフォーラム等のイベントの開催	ボランティアネットワーク等のイベント開催への協力や、社会福祉大会等での発表等、団体の活動を周知し、参加するきっかけづくりを行います。	【区社協】 3/9(土)ボランティアフォーラム開催します。活動団体発表の選出方法を従来通りではなく、様々な団体が参加できるよう工夫していきます。	【区社協】 ・ボランティアフォーラム実施し、200名を超える来場者がありました。発表団体は健康フラ体操、相撲甚句会等に依頼し、体験コーナーでは布おもちゃ、QQの会、マミーなどが出展しました。今年は個人でコーヒーを淹れるボランティアとそのお手伝いをしてくれるボランティアにもお願いました。	
					ニーズ把握のための取組	—	区民意識の変化を測る調査の実施	26年度に実施した区民意識調査の推移をみるための調査を継続実施します。	【区社協】 ・区民向け啓発「あなたの活(い)場所みつけませんか」講演会(生活支援体制整備事業)を実施し、60名の参加がありました。生活支援体制整備事業と区役所の包括ケア推進事業の啓発として実施しました。参加者には地域に出るきっかけづくりからボランティアまで意識調査を行い、地域活動への関心がある方には講座やボランティア活動のお知らせ等を行いました。		